

一般回線用非常通報装置

WhiteLock110A_RN

取扱説明書



製品をお使いになる前に、本書をお読み下さい

PDF を画面でご覧の方は目次や参照ページをクリックすると該当ページに移動します。
また文章から移動する箇所もあります。

重要事項

本製品は、医療機器、原子力施設機器、航空機器、交通関連機器など、ひとたび事故が起こると生命、財産に関わる重大な損害を与えるおそれのあるシステムには使用しないで下さい。
本製品を組み込んだお客様の製品に起因して発生したいかなる損害に対しても、弊社では一切の責任を負いません。
本製品の仕様、デザインなどは改良のため予告なしに変更する事があります。

はじめに（必ずお読み下さい）

この度は、「WhiteLock110A_RN」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は、外部からの入力信号に応じて一般電話回線から携帯電話機、PHS 電話機、一般電話機などに音声メッセージや文字メッセージ(SMS メールまたはE メール)で自動通報する装置です。
この「非常通報装置 WhiteLock110A_RN 取扱説明書」の本文中においては、「WhiteLock110A_RN」を「WL110A_RN」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

●NTT 仕様で2線式のプッシュ回線またはダイヤル回線(20PPS)、PBX(2線式外線発信回線)、ISDN回線ならTA(ターミナルアダプタ)のアナログポートが利用できます。

●**ビジネスホン回線、ホームテレホン回線での使用は出来ません。**また、これらの回線に接続して通報動作をしますと、WL110A_RNが故障します。

●文字メッセージ(Eメール)通報する際には「メール送信システム」サービスをご使用下さい。携帯(SMS)メール通報する際には「ドコモショートメール」を使用します。

●WL110A_RNの誤作動、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

●WL110A_RNお使いになる前に、本書をよくお読み頂き、手順に沿って動作を確認の上ご使用下さい。特に通報先の電話番号の間違いには十分ご注意ください。この説明書は、本製品の側などにいつも手元においてお使いください。

●WL110A_RNは付属品を含め、改良のため予告なく装置全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●WL110A_RNは、ご購入直後の状態ではそのまま使用することができません。弊社製品サイトより設定用ソフトウェアとUSBドライバをダウンロードしていただき、パソコンにインストールし設定を行う必要があります。また、音声通報する場合は録音も行ってください。

●設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。

※本取扱説明書に掲載のパソコン画面は、Windows7(Professional サービスパック1)を例にしてあります。

※本取扱説明書に掲載の設定ソフトはWhiteLock110A_RN設定ソフトVer3.00が記載されています。

音声メッセージ通報を受ける際の注意事項

通報先は、**呼出音を3回以上鳴らしてから**受話器をとってください。受話器をすぐに取りますと、何回も通報を繰り返します。また、音声メッセージも流れません。

携帯電話で音声メッセージ通報を受ける際の注意事項

通報先で音声メッセージが流れない場合

◎通報先の携帯電話がiモード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音(プルル音)が聞こえない状態です。呼出音(プルル音)が聞こえまないと、WL110A_RNは回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【解決方法】通報先は5回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ますと正常通報します。

◎通報先の携帯電話が『メロディコール』(ドコモ)又は『待ちうた』(au・ソフトバンク)サービスに契約されていると、電話をかけた側には、呼出音(プルル音)に音楽が混じって(又は音楽のみ)聞こえます。呼出音(プルル音)が聞こえまないと、WL110A_RNは回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【解決方法】通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号(通報装置から発信する番号)の設定をプルル音に変更して下さい。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。

製品ホームページ <https://www.adocon.jp/>

*本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

*本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

安全にお使いいただくために

本製品の誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐために、本文中に示す「警告マーク」および「注意マーク」の意味を十分理解していただき必ずお守り下さい。

この取扱説明書では動作設定および操作の手順について解説しています。内容をご理解いただいたうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

警告マーク及び注意マーク表示について



警告

この表示の警告事項を無視して本製品の取り扱いをすると、本製品が誤動作し、人命、身体に関わる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。また、法律違反になる場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。



注意

この表示の注意事項を無視して本製品の誤った取り扱いをしますと、本製品が破損、又は通信不能や誤動作する場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。

警告と注意



警告

本製品は、人命や身体、財産に関わる重大事故の発生するおそれのある設備や機器としての使用や、それらに組み込んで使用しないで下さい。また、それら施設の周辺で使用しないで下さい。

電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないで下さい。

航空機、原子炉施設などの重要施設等での使用はしないで下さい。

本製品を使用したシステムを設計する場合は誤動作防止、火災発生対策など安全設計をして下さい。

軍事目的（武器、テロ行為）や、軍事関連施設では使用しないで下さい。

本製品は、日本国内仕様となっていますので、海外での使用は出来ません。

本製品を使用するシステム、機器の安全対策を十分に行って下さい。

以下のような環境あるいは、本製品の定格や仕様の範囲を越えた使用はしないで下さい。

- ・本製品は精密機器です。塵・ほこり・水滴等により故障することがあります。
- ・振動や衝撃が加わる場所。高温、低温になる場所や温度差が急激に変化する場所、閉め切った車内、ストーブ、ヒータ、冷凍庫、本体の放熱を妨げる場所など。
- ・湿度や水気が多い場所、浴室内、台所の流しや湯気の当たる場所、雨や雪のかかる屋外、直射日光が当たる場所。
- ・強い電波や磁力、静電気が発生する場所。腐食性ガスの発生、化学物質の付着するおそれのある場所。

以下のような取扱いは絶対にしないで下さい。

- ・本製品を落下などの衝撃を加えないで下さい。
- ・本製品の上には、重い物、液体などを置かないで下さい。
- ・異常発熱や発煙の原因となる為、本製品内に金属などの異物が入らないようにして下さい。
- ・電源供給線の誤配線が無いようにして下さい。
- ・手や体が電源部に接触すると感電する事がありますので、ご注意下さい。
- ・煙が出るなど、異臭がした場合は直ちに電源供給を停止し使用を中止して下さい。
- ・感電の恐れがありますので、電源を入れた状態では施工しないでください。
- ・本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。



注意

本体の分解・改造は行わないでください。本体内部は静電気に極めて弱い部品が使用されています。本体に触る前に人体の静電気を逃がしてください。

異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保障特性・性能の数値に少し余裕を持たせて使用してください。

本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がした場合や、過熱や煙が出たりする場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

本製品を長期間使用しない場合は、購入時の箱に入れて保管して下さい。

本書の内容のコピーや転載を無断で行わないで下さい。著作権法により禁止されています。

AC アダプタは必ず付属品をご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。

通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかる場合があります。設定後には動作試験（メール通報の場合メールの受信を確認してください）を必ず実施してからご使用下さい。また通報先に登録してある電話番号を解約された際にも、通報装置の設定修正・動作試験を行ってください。

設置場所について（必ずお読み下さい）

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になるなど、おもわぬ火災や故障の原因になる場合があります。

- ・急激な温度変化や湿度変化がある場所。
- ・結露するような場所。
- ・直射日光が当たる場所。
- ・水気、火気のある場所。
- ・粉塵等のほこりの多い場所。
- ・不安定な場所や振動がある場所。
- ・強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・腐食性ガスのある場所。
- ・気化した薬品や化学反応をおこす様な場所。空気中に塩分が含まれている場所。
- ・鉄粉がある場所。

お願い

本体やケーブル等は、小児の手が届かない場所に保管、設置してください。長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守・点検を行ってください。

初期不良について

初期不良対応は、**商品到着後 14 日以内**です。また、弊社の発送間違いの場合も交換させていただきます。なお、初期不良で売り切れ商品につきましては、同機種に交換できない場合があります。その場合、修理対応とさせていただきます。弊社によるお引取りにて対応させていただきます。

製品保証について

本製品の保証期間は、ご購入の日から 1 年間です。保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。ただし、「警告と注意」の項に掲げた環境や使用状況での故障については、保証期間であっても有償修理となります。保証に関する詳細は製品に添付の保証書をご覧ください。

雷による故障について

雷による故障は保証期間内であっても保証対象外となります。対策として、回線側と電源側に避雷器を取り付けられる事をおすすめします。弊社では避雷器の販売をしておりませんので別途ご用意下さい。

製品修理について

本製品の正しいご使用方法にも関わらず発生した故障に対し、製品の保証期間中（ご購入後1年間）は無償で修理いたします。保証期間を過ぎている場合は有償修理となります。

修理に出される前には、弊社ホームページの製品別 Q&A に同様な事例がないかご確認下さい。また、もう一度故障状況もご確認いただき、弊社営業担当者まで事前にご連絡をお願いします。

修理品は宅配便などで弊社までご送付下さい。

修理内容の明記

修理に出す場合は、必ず故障の内容や状況を具体的に明記し、修理品と一緒に送って下さい。

修理料金について

修理料金は、技術料、部品代、送料で構成されます。

送料について

保証期間内：返送費用は弊社負担とさせていただきます。

弊社までの送料はお客様でご負担下さい。

保証期間外：お客様の負担となります。

※出張修理は行いません。

ご連絡、お問い合わせ先

各種問い合わせは、下記の連絡方法がございます。また、弊社のホームページには技術情報ならびに最新情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

インターネットメールによるお問い合わせが、簡潔で間違いが無く、内容が伝えやすいのでとても便利です。

技術的なお問合せに関しては、開発環境や問題となっている事柄などを具体的にとりまとめた後にご連絡下さい。

■ インターネットメール

Eメールアドレス：eigyou@adocon.co.jp

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 電話

電話番号：0852-54-2036

受付時間：9:00 ～ 12:00

13:00 ～ 17:00

※営業日は平日のみとなっております。

■ FAX

FAX番号：0852-54-2196

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 郵便

郵便番号：690-2101

住所：島根県松江市八雲町日吉3-24

宛名：株式会社アドコン 営業担当宛

■ ホームページ

弊社ホームページには製品毎のカatalog、取扱説明書ならびに新着情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

ホームページアドレス <https://www.adocon.jp/>

目 次

ご使用の前に	8
略称、商標について	8
制限事項	8
接続する電話回線について	8
本体の操作について	8
付属の停電保証用充電池について	8
製品概要と特徴	9
概要	9
特 徴	9
パッケージ内容の確認	10
旧WhiteLock110Aとの違い	10
PBX（内線交換機）での使用について	11
PBX回線で確認するところ	11
PBX（内線交換機）の仕様で確認するところ	11
その他の注意点	11
各部の名称とその機能	12
本体外観	12
動作設定	13
設定ソフトのインストール	13
ホームページから「ダウンロード」する場合	13
CD-Rからインストールする場合	15
USBドライバのインストール	16
Windows7、Windows8での自動インストール	16
設定に使用するパソコン	16
設定ソフトウェアの起動	17
通報先の設定	17
メール通報の設定	17
通報先の種別	17
通報先の電話番号	19
外線発信番号	19
音声通報する場合	19
タダ電通報する場合	20
携帯メール(SMS)通報する場合	20
メール送信システムへ通報する場合	21
WhiteLock集中監視専用モデムへ通報する場合	22
留守番電話サービス対応	22
通報終了条件	23
全体の設定	23
電源ON時に60秒間、入力信号を無視する	23
定期通報する	24
リダイヤル回数	24
停電や復電時に通報する	24
解除呼出の方法	25
電話回線の種類	25
入力信号の接点仕様	25
入力信号の判定時間（ミリ秒）	25
送信メッセージの編集	26
携帯メール(SMS)で通報の場合	26
メール送信システムへ通報の場合	26
WhiteLock集中監視へ通報の場合	27
入力信号1～4のON/OFF	27

全解除.....	27
停電・復電.....	27
定期通報.....	27
文字数.....	27
通信ポートの確認.....	28
本体とパソコンの接続.....	28
設定内容の転送.....	28
本体から設定内容を読み込む.....	31
設定内容の保存と読み込み.....	31
録音再生.....	33
録音再生の概要.....	33
出荷時の録音内容.....	33
録音内容の例.....	33
通報時の再生例（通常通報を受けた時）.....	33
録音再生の操作方法.....	34
動作確認.....	35
呼出の種類と通話時間.....	36
通報の種類.....	36
音声通報.....	36
タダ電通報.....	36
携帯メール(SMS)で通報.....	36
メール送信システムによるEメール通報.....	36
WhiteLock集中監視へ通報.....	36
1回の通報にかかる通話時間.....	36
標準設定の時.....	37
全解除呼出設定.....	37
個別解除呼出.....	38
個別解除呼出と全解除呼出の両方を指定している場合.....	38
停電時発信.....	39
定期通報.....	39
通報終了の条件.....	40
1つの通報先を終了する条件.....	40
複数の通報先を終了する条件.....	40
通報を終了するまでに発生した警報.....	41
リダイヤルについて.....	41
設置方法.....	42
設置場所を決める.....	42
接続工事.....	42
本体側の電話回線.....	42
他の電話機やFAXなどの回線と併用するとき.....	42
電話回線の終端に接続する場合.....	42
モジュージャックを分配する場合.....	42
入力端子接続.....	43
接続.....	43
端子台.....	43
センサー用電源+V端子.....	43
取付足.....	44
ACアダプタの接続.....	44
運転の開始.....	44
信号入力部の内部回路.....	45
通報の受信.....	46
受信装置.....	46
音声通報を電話機で受信したとき.....	46
携帯メール(SMS)を受信する場合.....	46

メール送信システムを利用した場合.....	46
WhiteLock集中監視の場合.....	46
動作モニタ	47
表示モニタランプ.....	47
起動時.....	47
通報の状態から見たとき.....	48
ランプの点灯状態から見たとき.....	48
停電保証について	49
停電保証用充電池.....	49
Q & A 困ったときにご覧下さい.....	50
一般的なご質問.....	51
通報・設定についてのご質問.....	53
携帯メール(SMS)通報についてのご質問.....	56
メール送信システムについてのご質問.....	57
設定ソフトについてのご質問.....	58
こんなときには	60
設定ソフトウェアのアンインストール.....	60
本体を清掃するときは.....	60
仕様.....	61
「WhiteLock110A_RN」本体.....	61
設定ソフトウェア.....	61
外形図.....	62
ACアダプタ外形図.....	63
バージョン	64
更新履歴.....	65
索引.....	67

ご使用の前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。

接続する電話回線について

本体と**接続可能な電話回線**は下記の通りです。

1. NTT 仕様で 2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。

ADSL 回線・ISDN 回線・IP 電話・光電話等の場合は、専用の信号変換機器やモデム、ターミナルアダプタのアナログポートに接続できます。

注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

2. アナログ PBX 交換機を介して接続する場合には、NTT 仕様に準拠したものでなければなりません。

詳細は、「PBX（内線交換機）での使用について」11ページをご覧ください。

本体と**接続出来ない電話回線**は下記の通りです。

1. 携帯電話機、PHS、ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4 線式電話機、専用線に接続することは出来ません。

注）ビジネスホン回線・ホームテレホン回線に接続して通報動作をしますと WL110A_RN が故障します。

本体の操作について

- ・電源スイッチを OFF にした直後に ON にすると内部 CPU が正しく起動しないことがあります。電源スイッチを OFF にして、再び ON にする際には、3 秒以上待ってから ON にして下さい。
- ・電源プラグを差し込む時は、WL110A_RN の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。
- ・設定ソフトで設定を行った後は、実際に発信させて受信できるか確認して下さい。
- ・接点毎に異なる通報先の設定はできません。
- ・出荷状態では設定されていません。この状態では入力信号が「警報発生」の状態になっても通報しません。
- ・再呼出機能については、同一の通報先を複数設定することにより対応しています。

付属の停電保証用充電電池について

出荷時、停電保証用充電電池は完全に充電されておられませんのでご注意ください。商用電源（AC アダプタ）を接続して、72 時間（3 日間）経過しますと満充電になります。本体の電源スイッチが OFF の状態でも充電します。

製品概要と特徴

概要

本製品は、電話回線に接続して通報を行います。接点信号が入ると、あらかじめ設定された通報先へ音声メッセージまたは文字メッセージで通報します。

特 徴

- ・ **PBX（内線交換機）にも対応**
PBX交換機の内線間への通報や、外線への通報に接続するときの発信機能を装備しています。
- ・ **接点入力4点＋センサー用電源**
入力点数が4点あり様々なセンサーや機器類が接続できます。また、センサー等の電源供給用としてセンサー用電源を装備しています。
- ・ **外部入力毎にIC録音された内容で自動通報**
圧縮無し直接録音方式で音質良好。録音は何度でも可能、録音内容は半永久的に保持。
- ・ **最大6カ所までの通報が可能**
最大6カ所までの通報先の指定が可能です。
- ・ **通報終了の条件も指定可能**
通報先毎に「必ず通報」するか「何所か1カ所」に通報できたら終了を選べます。また、リダイヤル回数も設定できます。
- ・ **メール通報はEメール、または携帯メール(SMS)が可能**
「メール送信システム」に登録することで、最大30カ所までEメール通報が可能です。または、携帯メール(SMS)通報（通報先はドコモ携帯電話機に限る）が可能です。どちらも、メッセージ内容は入力信号ごとに設定できます。
- ・ **停電保証 1時間以上を確保、停電保証用充電池付き**
006P型ニッケル水素充電池を標準添付。
- ・ **停電・復電通報を標準装備**
停電・復電通報は、設定ソフトにチェックを入れるだけです。外部から停電信号を接続する必要がありません。
- ・ **小型で制御盤内への組込が容易**
本体重量は約230gと軽量です。本体サイズも非常にコンパクトなので制御盤内への取り付けも簡単に行えます。また、プラスチック取付足も付属しています。
- ・ **入力信号の選択が可能**
入力が短絡状態になったときに通報するか、開放状態になったときに通報するか、入力毎に設定が可能。設定ソフトにチェックを入れるだけで切り替えできます。
- ・ **設定用パソコンソフト（Windows 7、8 用）**
設定ソフトは、インストールも設定もとても簡単です。最新の設定ソフトは、弊社製品サイトからいつでもダウンロードしてご利用できます。製品には、USB通信ケーブルも標準添付しています。
- ・ **低価格**
他社の半分以下の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

パッケージ内容の確認

製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

名称	
本体	
端子台ソケット (本体に取り付け済み)	
プラスチック取付足 (ケース用ビス付)	
AC アダプタ	
イヤホンマイク	
USB 通信ケーブル A(オス) - B(オス)	
モジュラーケーブル	
停電保証用充電電池	
保証書	—

※上図は、実際のものと多少形状等が異なる場合がありますのでご了承ください。

※取扱説明書、設定用ソフトウェアは本製品に付属していません。

取扱説明書、設定用ソフトウェアは製品ページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。

製品サイト <https://www.adocon.jp/>

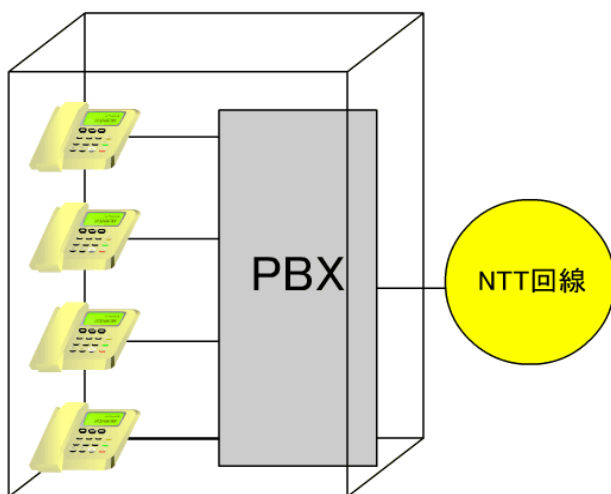
取扱説明書（モノクロ A4 版）や、設定用ソフトウェア（CD-R 版）を別途購入して頂くことも可能です。ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

旧 WhiteLock110A との違い

- ・雷の混入に対する故障対策を強化しました。
- ・パソコンで設定する際のインターフェースを、DSUB (RS-232C) から USB に変更しました。
(DSUB コネクタが無いパソコンで設定する際に、USB シリアル変換器が不要です。)

PBX（内線交換機）での使用について

PBX（内線交換機）とは、構内電話交換機のことをいいます。電話局で使われている局内交換機に対応するもので、企業内に設置して外線電話と内線電話同士を交換する装置のことです。



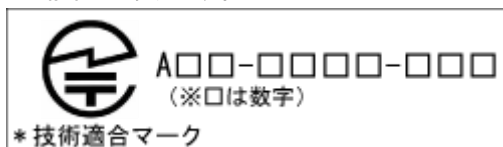
PBX 回線で確認するところ

接続する回線がビジネスホン回線ではない事をご確認下さい。NTT の電話機（家電量販店・ホームセンターなどで市販している物）を内線へ接続し、外線に電話がかかる回線であれば WL110A_RN を接続出来ます。

※ビジネスホン回線へ WL110A_RN を接続して通報動作を行いますと、WL110A_RN が故障します。

電話回線に接続されている電話機の技術基準適合認定番号でも、ビジネスホン回線の確認が出来ます。電話機には、技術適合マークと認定番号が記載されています。電話用設備（一般電話機など）の認証番号は「A」で始まります。一例として、ビジネスホン端末機器の認定番号の始まりは「ACD」と表示されています。

ビジネスホン回線は、主装置に認証番号が記載されている事があります。電話機に記載が無い場合はビジネスホン回線の可能性があります。



※左図は、一般電話機の記載例です。

PBX（内線交換機）の仕様で確認するところ

受話器を上げたとき	DT（発信音）…400Hz の連続、または、PDT（内線発信音）…400Hz 0.25 秒 ON 0.25 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が話中のとき	BT（話中音）…400Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手呼び出しているとき	RBT（呼出音）…400Hz 1 秒 ON 2 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が電話を切断したとき	BT（話中音）…400Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。 数回鳴って無音になってしまう PBX は使えません。

※SDT（第2ダイヤルトーン）0.125 秒の ON/OFF には対応していません。

※発信音が 500Hz の PBX や、話中音が 440Hz の PBX もあります。これらは PBX のメーカーに問い合わせてください。また、上記説明で、0.25 秒のところが 0.2 秒の PBX がありますが、これは使用できません。

※発信音がこの条件と異なる場合、PBX の設定で変更可能な場合があります。PBX のメーカーか設置業者に問い合わせてください。

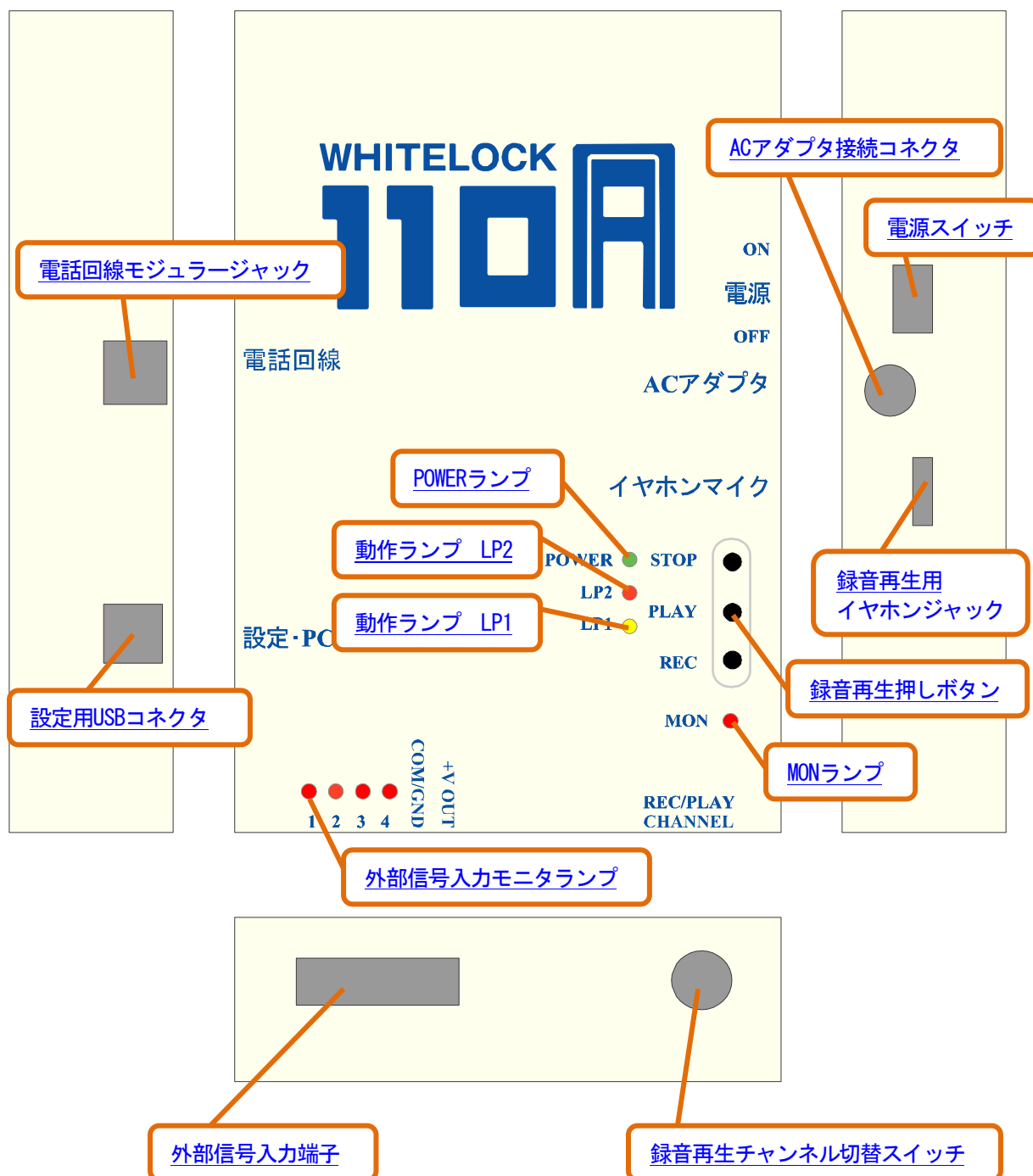
※音声通報の場合、通報を受けた電話機で#を押すと通報終了となります。PBX で電話を切ったあとの話中音の周波数が違う場合でも、#を押すことで通報終了とさせることができます。

その他の注意点

外線で電話番号の最初に「186」を付けると電話がかからない PBX もあります。この場合は「186」を付けない設定で使用してください。外線発信番号を設定すると、通報装置は指定番号の発信を行ってから約 1 秒待つてダイヤルを開始します。外線発信番号と待機時間は設定ソフトで変更できます。

各部の名称とその機能

本体外観



動作設定

WL110A_RN は、ご利用の前に通報動作に必要な条件や電話番号などを登録しておく必要があります。この登録は、パソコンに「設定ソフトウェア (Windows 7/8 用)」と USB ドライバをインストールしたもので行います。設定ソフトウェア、USB ドライバは弊社ホームページからいつでもダウンロードできます。

ご自分で設定ができないときは、パソコンを持っている方をお願いするか、弊社に設定をご依頼ください。また、御購入後の設定変更も承ります（どちらも有料で、別途送料が必要です）。

設定ソフトのインストール

設定ソフトをパソコンにインストールするためには、インストーラーソフトを入手する必要があります。

ホームページから「ダウンロード」する場合

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

① 弊社ホームページのトップ画面の「ダウンロード」を選択します。



「ダウンロード」→「設定ソフト」→「WhiteLock110A_RN」

※「WhiteLock110」もご使用いただけますが、本取扱説明書の画面と異なりますので、ご了承下さい。

② ダウンロード画面では、「設定ソフト」を選択します。

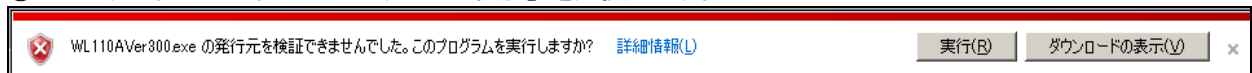
③ 設定ソフト画面では、「WhiteLock110A_RN」を選択します。

④ ダウンロード画面の「README.txt」を開き、インストール方法の内容を確認して下さい。

⑤ 「設定ソフトダウンロード」をクリックすると、下記画面が表示されますので、「実行」を選択します。



⑥ 次に、下記画面が表示されますので「実行」を選択します。

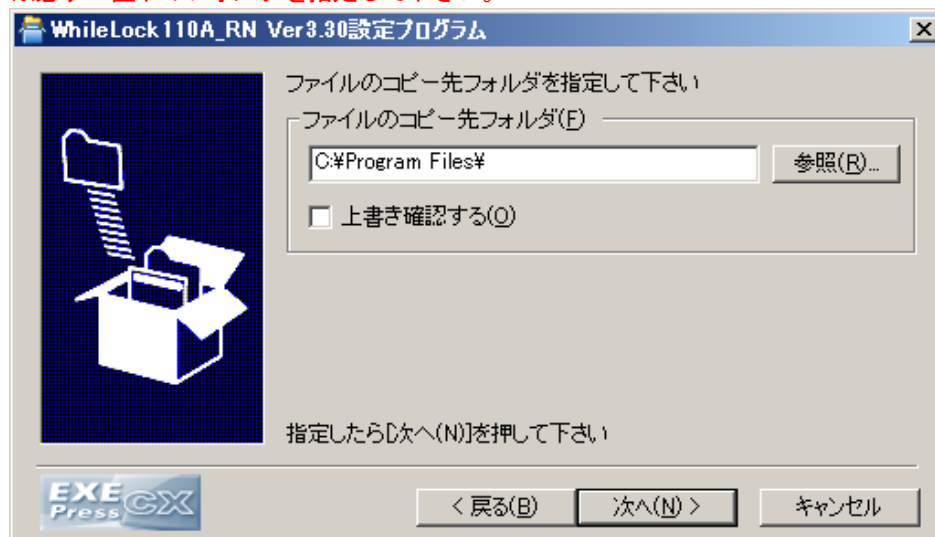


⑦「次へ」を選択すると、インストールを開始します。



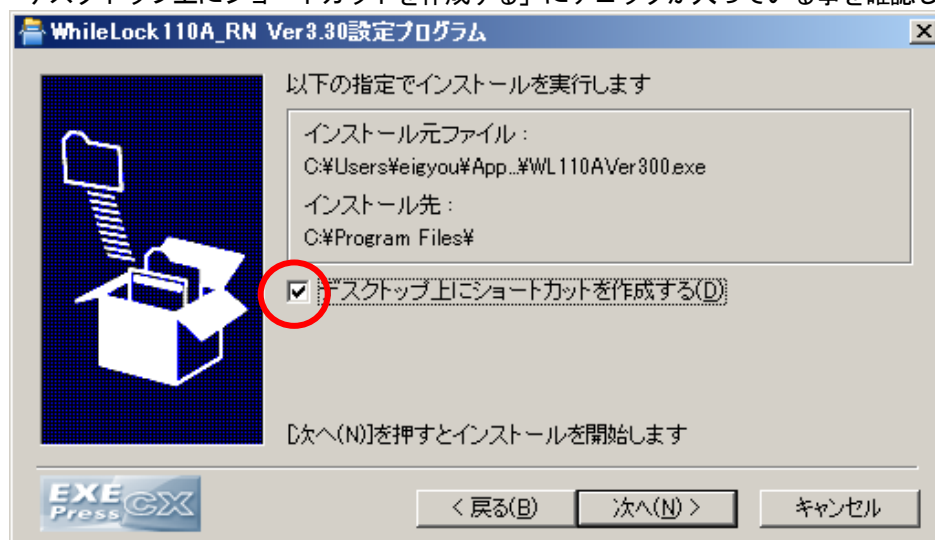
⑧ファイルのコピー先フォルダを選択した後、「次へ」を選択します。

※必ずOS直下のフォルダを指定して下さい。



⑨インストール元ファイルとインストール先を確認し、「次へ」を選択します。

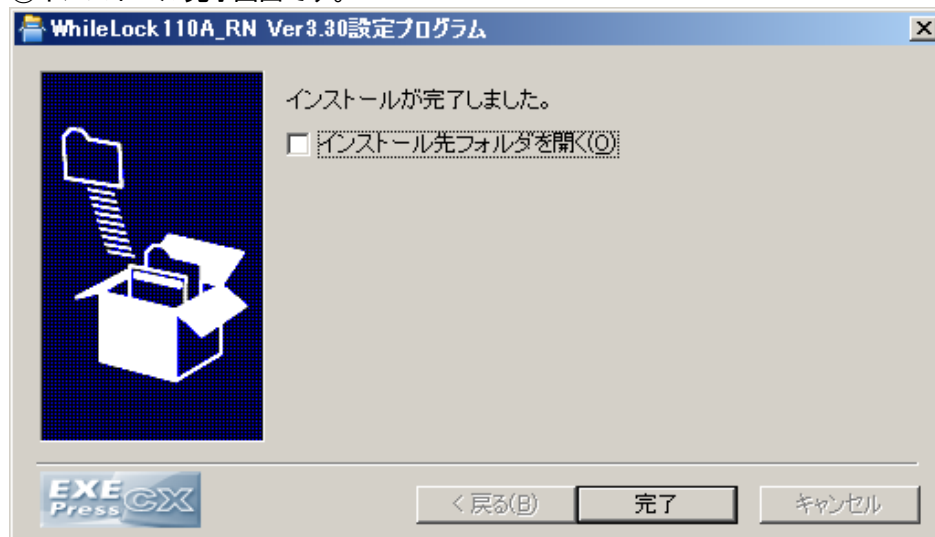
「デスクトップ上にショートカットを作成する」にチェックが入っている事を確認します。



⑩インストール中の画面です。



⑪インストール完了画面です。

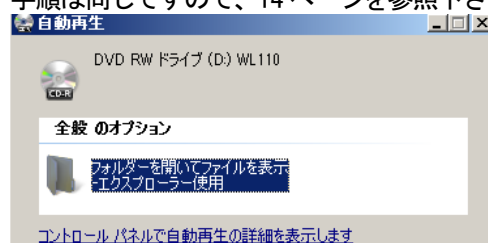


「完了」を選択すると画面が消え、デスクトップ上にショートカットが表示されています。



CD-R からインストールする場合

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。
 CD-R をドライブに入れると、自動再生画面が出ます。「フォルダを開いてファイルを表示…」を選択し、「WL110Aver300.EXE」をダブルクリックします。
 「ホームページからダウンロードする方法」の⑦と同じ画面が表示されます。
 手順は同じですので、14 ページを参照下さい。



USB ドライバのインストール

設定ソフトで設定した内容を本体に転送するには専用のデバイスドライバのインストールが必要です。
※ドライバをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

弊社ホームページの「ダウンロード」を利用します。

① 弊社ホームページのトップ画面から、下記を選択します。

「ダウンロード」→「設定ソフト」→「USB ドライバ」

② 「USB ドライバのインストール方法 PDF」を選択し、内容を確認して下さい。

※紙に印刷したインストール方法を、お手元に置いた状態でのインストールをおすすめします。

※このインストール方法の説明(PDF 形式)は、表示された画面の「ファイル」－「名前を付けて保存」で任意のフォルダに保存しておくことが出来ます。

インストール時にはWhiteLock110A_RN 本体と付属の USB 通信ケーブルが必要です。この時、本体に AC アダプタは接続しません。

Windows7、Windows8 での自動インストール

ダウンロード画面の「USB ドライバのインストール方法 PDF」を参照下さい。

※自動インストールは、パソコンがインターネット高速回線(光回線又は ADSL 回線)に接続されていなければ出来ません。

設定に使用するパソコン

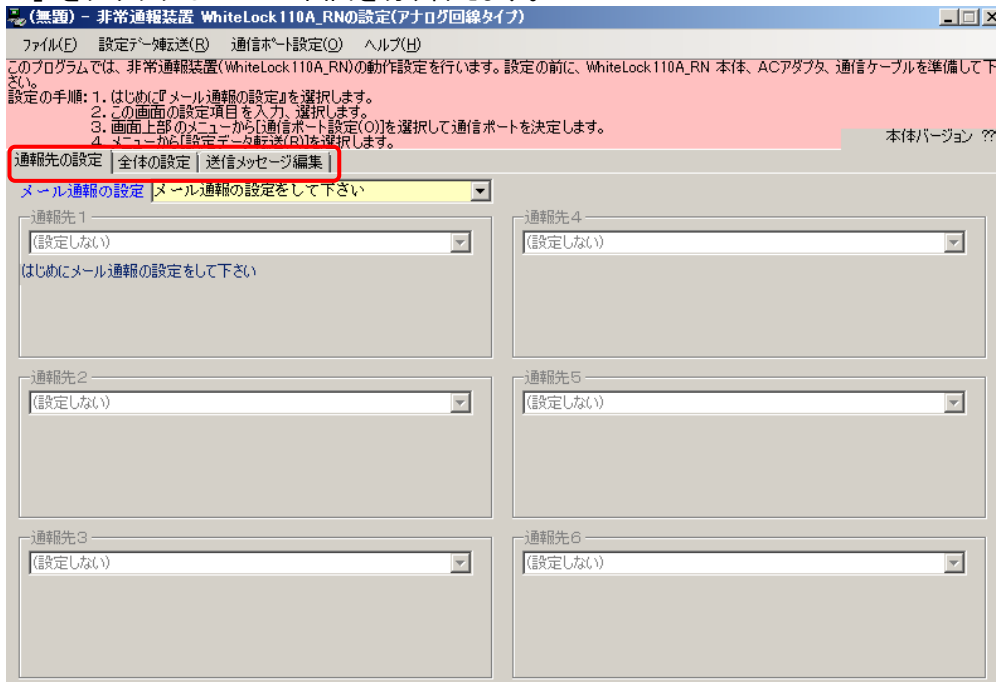
設定を行う場合、以下の仕様のパソコンが必要です。

・ CPU	Pentium150MHz 以上
・ OS	日本語 Windows 7 Windows 8
・ ハードディスク	インストールに 7M バイト程度の空きエリアが必要
・ メモリ	実装メモリ 64M バイト以上
・ モニタ	解像度 800×600 ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ
・ ビデオカード	800×600 ドット以上で、256 色以上が表示可能なもの
・ USB ポート	USB ケーブル (設定内容を本体に転送する時に使用) ※USB ケーブルは本製品に付属しています

- ※ 記載の無い OS で動作する場合もございます。
- ※ Windows98/Me/2000/Vista/XP のサポートは終了しました。
- ※ 既にインストール済みのソフトウェアやハードウェアの設定、その他の状況により、設定ソフトが正常に動作しない場合もあります。
- ※ 弊社ホームページからWL110A設定ソフトウェアとUSBドライバをインストールしてからご使用下さい。
<https://www.adocon.jp/>

設定ソフトウェアの起動

デスクトップ上の「WhiteLock110A_RNVer3.00 設定プログラム」を選択し、設定ソフトウェアを起動して下さい。
「WL110A_RN」の設定画面は、「通報先の設定」「全体の設定」「送信メッセージ編集」の3つがあります。中央上の「タブ」をクリックして3つの画面を切り替えます。



画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。

- * [通報先の電話番号]は必須入力です。未入力の場合は赤い文字で表示されます。
- * [通報先の設定]タブで通報先に「携帯メール(SMS)で通報」または「メール送信システムへ通報」または「WhiteLock 集中監視へ通報」が選択されていなければ[送信メッセージ編集]タブを選択できません。

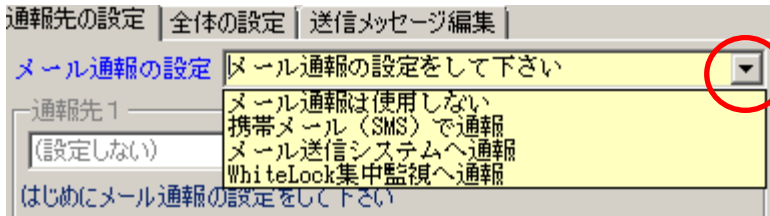
通報先の設定

メール通報の設定

通報先は最大6ヶ所まで指定でき、通報先ごとに通報方法が選択出来ます。

まず、はじめに「メール通報の設定」よりメール通報を選択します。

下図の下矢印(▼)をクリックすると一覧が表示されます。



注) 「携帯メール(SMS)通報」と「メール送信システム」と「WhiteLock 集中監視」とは、重複して使用する事は出来ません。

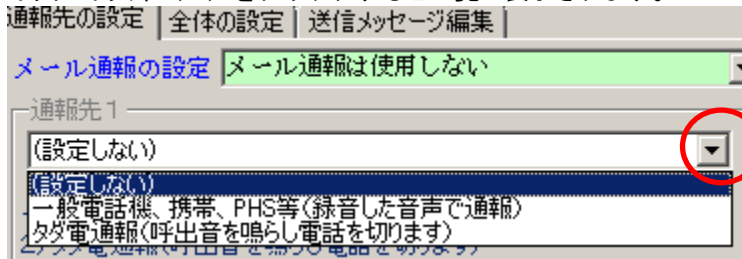
通報先の種別

- ・ 録音した音声で通報する場合は、「一般電話機、携帯、PHS等(録音した音声で通報)」を選択します。
- ・ 呼出音を鳴らしてすぐ電話を切る場合は、「タダ電通報(呼出音を鳴らし電話を切ります)」を選択します。
- ・ 携帯電話へSMSメール通報する場合は、「携帯メール(SMS)で通報」を選択します。
- ・ 「メール送信システム」を利用してEメール通報する場合は「メール送信システムへ通報」を選択します。
- ・ WhiteLock 集中監視へ通報する場合は「WhiteLock 集中監視へ通報」を選択します。
- ・ 設定しない場合は「(設定しない)」を選択します。

・メール通報を使用しない場合は「**メール通報は使用しない**」を選択して下さい。

※音声通報とタダ電通報を通報先ごとに選択出来ます。

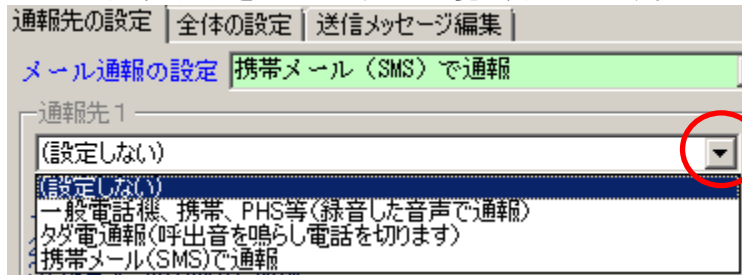
下図の下矢印（▼）をクリックすると一覧が表示されます。



・携帯メール(SMS)通報を使用する場合は「**携帯メール(SMS)で通報**」を選択して下さい。

※音声通報とタダ電通報と携帯メール(SMS)通報を通報先ごとに選択出来ます。

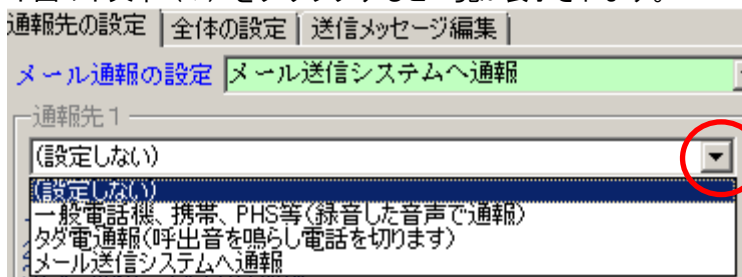
下図の下矢印（▼）をクリックすると一覧が表示されます。



・メール送信システムをご使用される場合は「**メール送信システムへ通報**」を選択して下さい。

※メール送信システムの選択が出来ます。残りの通報先へは、音声通報かタダ電通報を選択します。

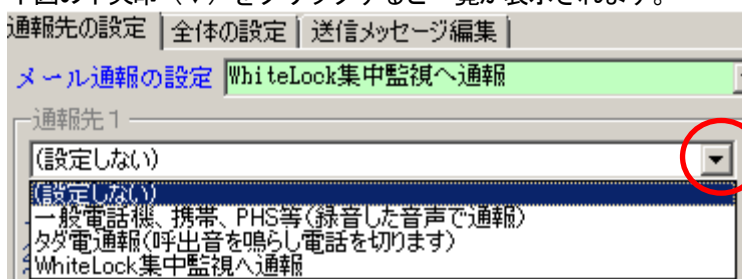
下図の下矢印（▼）をクリックすると一覧が表示されます。



・WhiteLock 集中監視をご使用される場合は「**WhiteLock 集中監視へ通報**」を選択して下さい。

※WhiteLock 集中監視の選択が出来ます。残りの通報先へは、音声通報かタダ電通報を選択します。

下図の下矢印（▼）をクリックすると一覧が表示されます。



通報する順番は通報先 1、通報先 2、…通報先 6 となります。

全ての通報先を「(設定しない)」に設定していると、どこにも通報しません。

※初期状態は全て「(設定しない)」になっています。

※通報先 1 から順に設定して下さい。

下記のような設定では、正常動作しないおそれがありますのでご注意下さい。

- ・通報先 2 以降から設定した場合
- ・通報先 1 から最後の通報先までの間に「(設定しない)」を入れた場合

通報先の電話番号

- ・ 通報したい一般回線電話機、携帯電話、PHS の電話番号を入力します。
- ・ 通報先 1 カ所につき最大 24 桁まで入力できます。
- ・ 電話番号に、市外局番が必要な時は必ず入力してください。
- ・ ハイフン（-）は入力せず、番号部分のみ入力します。
- ・ PBX 交換機の内線へ通報するときは、内線番号を入力します。
- ・ ダイヤル回線の場合は「#」や「*」は使用できません。
- ・ 発信者番号を通知する場合は、電話番号の先頭に「186」を入力します。

外線発信番号

下図は 0 発信した後、1 秒後に XX-XXXX-XXXX へ音声通報します。
コンマ「,」1 つにつき 0.5 秒の待ち時間が設定出来ます。

「外線発信番号…」をクリックすると、「外線発信番号」が表示されます。

- ・ 「0」をクリックすると「0,,」が入力されます。
- ・ 「,」を追加したいときは、「,」を追加 をクリックします。
- ・ 「なし」をクリックすると、入力されたものが削除されます。
- ・ 「キャンセル」をクリックすると、何も変更せず「外線発信番号」が閉じます。

※外線発信番号をダイヤルした後の待ち時間が 1 秒では足りない場合はコンマ(,)を必要なだけ入力してください。

※コンマ(,)1 つにつき 0.5 秒づつ待ち時間が長くなります。「0,,,XXXXXXXX」とすると 2 秒の待ち時間になります。

音声通報する場合

音声メッセージで通報する場合、「一般電話機、携帯、PHS 等（録音した音声で通報）」を選択します。

下図は XX-XXXX-XXXX へ音声通報します。

下図は通報先に内線番号がある場合です。

XX-XXXX-XXXX をダイヤル後 2 秒後に XXXX（内線番号）へ音声通報します。

コンマ(,)1 つにつき 0.5 秒の待ち時間が設定出来ます。

タダ電通報する場合

発信者番号通知で通報する場合、「タダ電通報（呼出音を鳴らして電話を切ります）」を選択します。
下図は XX-XXXX-XXXX へタダ電通報します。

携帯メール(SMS)通報する場合

携帯電話機へ SMS メール通報する場合、「携帯メール(SMS)で通報」を選択します。
下図は XXX-XXXX-XXXX へ SMS メール通報します。「携帯メールセンター」をクリックし「携帯メールセンター設定」画面で「OK」をクリックすると「NTT ドコモショートメッセージサービス(SMS)」が選択されます。

※通報先の携帯電話機はドコモに限ります。また、通報先は SMS 受信を許可する設定を行って下さい。

※設定後は、必ず通報先で SMS メールの受信を確認して下さい。通報先を変更した場合なども、必ず受信の確認をして下さい。

※通報先の携帯電話機がドコモ以外への変更や、SMS 受信拒否の設定にした場合は、速やかに設定を変更するか、SMS 受信を許可してもらうようにして下さい。

※WL110A_RN を接続する電話回線の契約が NTT 以外の場合、SMS センターに接続出来ない場合があります。

注) SMS メールを受信できない通報先に対する、SMS メール通報によって発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので、予めご了承下さい。

外線発信番号が必要な場合

外線発信番号が必要な場合は、「携帯メールセンターの設定」にある「外線発信番号」で入力出来ます。

PBX（内線交換機）からの発信の場合

ショートメッセージセンターへメッセージを送信する場合、PBX（内線交換機）と一般回線では、電話を掛け始めてから回線に繋がるまでの時間が異なります。その為、PBX（内線交換機）の場合、ショートメッセージセンターが送信メッセージをうまく受け取れないことがあります。

【 確認方法 】

まず実際に、ショートメッセージセンター（0903101655）へ電話を掛けて回線に繋がる時間を計ります。15 秒以内に回線が繋がれば、設定の変更は必要ありません。15 秒以内に繋がらない場合は、20 秒に変更が必要です。

【 設定方法 】

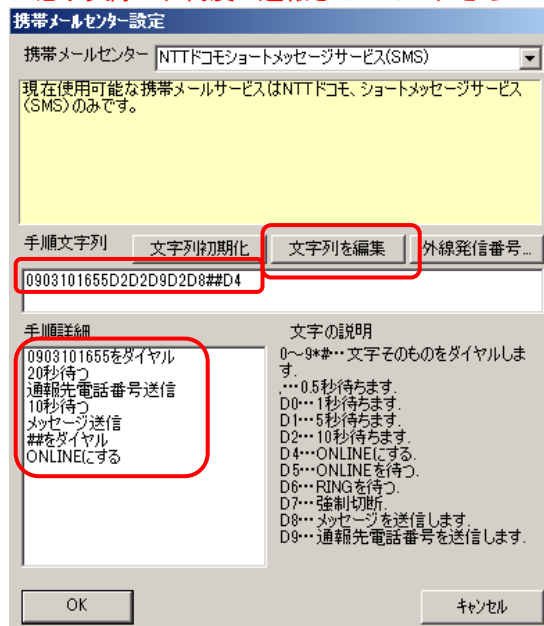
メッセージを送信するタイミングは「携帯メールセンターの設定」で調整します。

「文字列を編集」をクリックすると「手順文字列」が編集出来るようになります。

初期値は「0903101655D2D1D9D2D8##D4」です。これを「0903101655D2D2D9D2D8##D4」にすると、ショートメッセージセンター（0903101655）ヘダイヤル後、15 秒待つ所を 20 秒待つようになります。

「手順詳細」で 10 秒が 20 秒に変更したことが確認出来ます。「OK」をクリックして設定完了です。

※必ず実際に、何度か通報させてみて、きちんと受信されるか確認して下さい。



メール送信システムへ通報する場合

「メール送信システム」を利用すると、Eメール通報が可能です。

通報の種類で「メール送信システムへ通報」を選択します。

- ・「メール送信システム」の設定は通報先1に設定されることを推奨します。
- ・「通報先の電話番号」へは「1860852673441」を登録します。
- ・「必ず通報」にチェックを入れます。
- ・通報先2以降に音声通報を設定されておくと、メール送信システム異常時に安心です。

※2020年12月31日で「05055025281」の電話回線は停止します。「通報先の電話番号」を「0852673441」へ変更してください。



「メール送信システム」をご使用される場合は、ユーザー登録シートによる登録が必要です。

※ユーザー登録シートは、ホームページの「メール送信システム」内にある「利用契約」より「同意してユーザー登録へ」へ進みますと、ダウンロード画面が表示されます。登録方法は登録シートに記載されています。

注) WL110A_RN を NTT の「ひかり電話（光 IP 電話）」に接続している場合は、「メール送信システム」への通報は出来ません。

注) ユーザー登録されていても発信番号が複数ある場合は、ご使用いただけません。未登録の発信番号からの通報は、エラーとなります。

WhiteLock 集中監視専用モデムへ通報する場合

集中監視を行う電話番号 XX-XXXX-XXXX へ通報します。

留守番電話サービス対応

音声通報で通報先が留守番電話だった場合の対応を設定します。

通報先が留守番電話サービスへ接続された場合、留守番電話のシステムによっては正常に通報が終了する場合と、リダイヤルする場合があります。ここでは、通報先の留守番電話サービスに合わせて、正常に通報が終了するように設定を行います。

※呼出音が 10 秒～20 秒鳴ってから自動応答が始まり、120 秒以内に自動的に電話が切れる留守番電話であれば、この設定は必要ありません。

* この設定により、人が通報を受けた場合にも、音声メッセージと一緒に DTMF 音（ピポパの音）が聞こえるようになります。

* WL110A_RN は通報を受けた先が人か留守番電話センターかの判断は出来ません。どちらであっても正常に通報が終了するように設定します。

対応する「留守番電話サービス」を選択してください。

※留守番電話センターに接続されても、正常に通報できるか十分テストを行ってください。

※留守番電話センターのシステムに変更があった場合に、本機能が正しく動作しない恐れがあります。

※この設定をした通報先に人が電話に出た場合、90 秒後音声メッセージと一緒に「#」などプッシュ音が聞こえます。

※WL110A_RN 側で呼出音（プルル音）が聞こえない留守番電話の場合、正常通報しません。たとえば通報先の携帯電話が圏外、電源 OFF の場合です。

ドコモ留守番電話サービスの場合

「ドコモ留守番電話サービス」を選択してください。

留守番電話サービスの自動応答が始まってから 90 秒後に「#1」を送信してメッセージを保存します。留守番電話サービスの設定で、呼出時間の設定（電話：1419）を 10～20 にします。

また、応答メッセージから録音までの時間が 60 秒で収まるようにしてください。留守番電話サービスの応答メッセージが長すぎると通報内容の録音ができません。

au お留守番サービスの場合

「au お留守番サービス」を選択してください。

お留守番サービスの自動応答が始まってから 90 秒後に「#」、さらに 10 秒後に「#」を送信してメッセージを保存します。

通報終了条件

通報先は、それぞれに「必ず通報」か「何所か1ヵ所」を選択できます。

留守電対応...	なし
☒ 必ず通報	☐ 何所か1ヵ所

「必ず通報」を選択した場合は、他の通報先にかかわらず、通報が成功するまで通報を試みます。

※「リダイヤル回数」を「制限無し」にした場合に限りです。「0～9回」に設定した場合は、通報が成功しない場合でも設定した回数以上は通報を試みませんのでご注意ください。

留守電対応...	なし
☐ 必ず通報	☒ 何所か1ヵ所

2ヵ所以上の通報先を「何所か1ヵ所」に選択する事が可能です。

「何所か1ヵ所」を選択した通報先が、何所か1ヶ所にでも通報が成功すれば、他の「何所か1ヵ所」を選択した通報先へは通報しません。

※この何所か1ヵ所は、「必ず通報」を選択している通報先は対象外ですので、ご注意ください。

詳しくは40ページの「複数の通報先を終了する条件」を参照してください。

全体の設定

全体の設定は2つ目のタブをクリックすると表示される下図の画面で行います。

通報先の設定		全体の設定		送信メッセージ編集	
☐ 電源ON時に60秒間入力信号を無視する ☐ 定期通報する 24 時間毎 リダイヤル回数: 制限無し		☐ 停電や復電時に通報する ☒ 1秒 ☐ 10秒 ☐ 1分 ☐ 10分 停電・復電がこの時間の間、継続したら通報します。			
解除呼出の方法 ☐ 各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います ☐ 全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います		電話回線の種類 ☐ 自動判定 ☒ プッシュ回線 ☐ ダイヤル回線			
入力信号の接点仕様 ☐ 入力信号1 チェックを入れると外部入力がある ☐ 入力信号2 OFFのときに入力ありと判断します ☐ 入力信号3 ☐ 入力信号4		入力信号の判定時間(ミリ秒) 入力1 700 ms 入力2 700 ms 入力3 700 ms 入力4 700 ms 入力信号がこの時間の間、継続してON(OFF)の時に入力変化があったとみなします			

電源 ON 時に 60 秒間、入力信号を無視する

□内にチェックを付けると、電源スイッチを入れたときに 60 秒間 LP1 (黄) が低速点滅します。この間、入力信号が警報状態（または解除）になっても通報しません。音声の録音再生もできません。

※「検知センサーCM-02」を使用される場合はチェックを入れてください。

☒ 電源ON時に60秒間入力信号を無視する

定期通報する

□内にチェックを付けると、指定時間毎に通報を行うことができます。

右側の時間は上下ボタンで変更できます。1 時間毎から 255 時間(約 10 日)毎に設定できます。例えば、48 時間毎に定期通報させれば、2 日毎に通報が来ますので通報装置が正常に動作しているか確認できます。

※定期通報は「携帯メール(SMS) 通報で通報」「メール送信システムへ通報」「WhiteLock 集中監視へ通報」どれかの場合に通報します。

※定期通報の通報内容では、入力信号の状態は確認出来ません。

※正常に通報が終了しなかった場合はリダイヤルします。(リダイヤル回数の制限無しの場合)

※WL110A_RNにはタイマーが内蔵されていない為、1日で約10分程度のずれが生じます。

リダイヤル回数

通報が正常に終了しなかった場合に、再度電話をかける回数を設定します。0～9 回、または制限無しに設定できます。

注意事項

◎通報先が話し中、圏外の場合には、リダイヤルが数分で終了し、結果的に通報ができない事が起こります。

◎「必ず通報」に設定してあっても、「リダイヤル回数」が設定してある場合(1～9 回)は、「リダイヤル回数」が優先になりますのでご注意下さい。

(通報例 1)

設定内容 → 通報先 (1 カ所・一般回線)・必ず通報 ・リダイヤル回数 9 回

通報先が話し中の場合・・・リダイヤルを 9 回した後、通報を終了しました。

(WL110A_RN が通報を始めてから 3 分で終了)

(通報例 2)

設定内容 → 通報先 (1 カ所・携帯電話機)・必ず通報 ・リダイヤル回数 9 回

通報先が圏外(電源 OFF)の場合・・・リダイヤルを 9 回した後、通報を終了しました。

(WL110A_RN が通報を始めてから 8 分で終了)

※リダイヤル回数を設定しますと、上記のようにリダイヤルが数分で終了してしまい、正常に通報が出来ない事が起こります。通常リダイヤル回数は「制限無し」の設定でご使用される事をおすすめします。

停電や復電時に通報する

□内にチェックを付けると停電や復電時に通報するようになります。

停電、復電と判定するまでの時間を 1 秒、10 秒、1 分、10 分から選択できます。

詳細説明は39ページの「停電時発信」をお読みください。

解除呼出の方法

入力信号が警報解除時に（機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき）通報する場合に、どちらかの□内にチェックを付けます。

呼出方法についての詳細説明は36ページの「呼出の種類と通話時間」をお読みください。

解除呼出の方法

☐ 各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います

☐ 全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います

※ 「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」は通報先の種類が「携帯メール(SMS)で通報」または「メール送信システムへ通報」または「WhiteLock 集中監視へ通報」の場合のみ通報します。

※ 「全ての入力信号が解除」の状態は、入力信号の接点仕様（25ページ参照）に準じます。

電話回線の種類

WL110A_RN を接続する回線の種類を設定します。

「自動判定」にすると、本体の電源を入れたときに回線の種類を自動で判定します。

※ PBXによっては自動判定できない回線もありますので、その場合は回線にあった設定を選んでください。

電話回線の種類

☐ 自動判定

☒ プッシュ回線

☐ ダイヤル回線

入力信号の接点仕様

各入力信号の接点仕様を設定します。

□内チェックを入れないと、a 接点仕様になります。

□内チェックを入れると、b 接点仕様になります。

入力信号の接点仕様

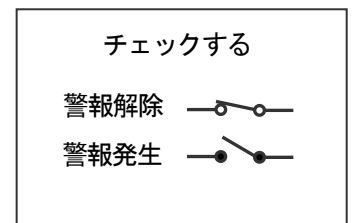
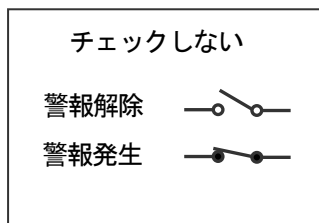
☐ 入力信号1

☒ 入力信号2

☒ 入力信号3

☐ 入力信号4

チェックを入れると外部入力が入力ありと判断します



・「警報発生」のときに短絡する信号を出力する場合はチェックを入れません。

(a 接点/ノーマル・オープン接点/メイク接点など)

・「警報発生」のときに開放する信号を出力する場合はチェックを入れます。

(b 接点/ノーマル・クローズ接点/ブレーク接点など)

※初期値ではチェックは付いていません。(a 接点)

※本体の入力信号モニタランプは、外部信号が短絡した時に点灯します。

※b 接点（チェックを入れた場合）の警報発生時の入力信号モニタランプは消灯状態です。警報解除時に点灯します。

入力信号の判定時間（ミリ秒）

各入力信号が設定された時間、継続して短絡（開放）した時に入力変化があったとみなします。100 ミリ秒単位で0 ミリ秒～1310700 ミリ秒（約 21 分）まで設定できます。

【 1 秒＝1000ms 1 分＝60000ms 】

※初期値は 700ms です。

※入カランプが点灯（又は消灯）したと同時に判定時間をカウントし始めます。

入力信号の判定時間(ミリ秒)

入力1 700 ms

入力2 1000 ms

入力3 60000 ms

入力4 700 ms

入力信号がこの時間の間、継続してON (OFF)の時に入力変化があったとみなします

送信メッセージの編集

送信メッセージの編集は3つ目のタブをクリックすると表示される画面で行います。
設定するメッセージが、それぞれの通報先へ送信されます。

携帯メール(SMS)で通報の場合

通報先の設定		全体の設定	送信メッセージ編集
識別コード			文字数
入力1 ON	入力1 ON		6
入力1 OFF	入力1 OFF		7
入力2 ON	入力2 ON		6
入力2 OFF	入力2 OFF		7
入力3 ON	入力3 ON		6
入力3 OFF	入力3 OFF		7
入力4 ON	入力4 ON		6
入力4 OFF	入力4 OFF		7
全解除	全解除		3
停電	停電		2
復電	復電		2
定期通報	定期通報		4
文字の種類 NTTドコモショートメッセージサービス(SMS)			
NTTドコモショートメッセージサービス(SMS)で送信できる文字数は識別コード +) を含めて全角50文字以内です。半角文字は使用できません。JIS第一水準、第二水準外の機種依存文字(い、い、I、II、囃、高、弱、等)は使用できません。			

送信できる文字数は全角50文字です。件名の入力はありません。

識別コードには、場所や機器の名前を入れます。識別コードの後に「) 」が付きます。

下記内容で設定し、入力1が警報発生した場合には、通報先へ次の様に表示されます。

「ホワイトロック110A__RN) 入力1 ON」

識別コード	ホワイトロック110A__RN
入力1 ON	入力1 ON

メール送信システムへ通報の場合

通報先の設定		全体の設定	送信メッセージ編集
識別コード			文字数
入力1 ON	IN1 ON		6
入力1 OFF	IN1 OFF		7
入力2 ON	IN2 ON		6
入力2 OFF	IN2 OFF		7
入力3 ON	IN3 ON		6
入力3 OFF	IN3 OFF		7
入力4 ON	IN4 ON		6
入力4 OFF	IN4 OFF		7
全解除	KAIJYO		6
停電	TEIDEN		6
復電	FUKUDEN		7
定期通報	TEIKI		5
文字の種類 メール送信システム			
識別コードはシステム登録時弊社から発行しましたコードを必ず記入して下さい。その他のメッセージは上記のままとして下さい(編集できません)。実際に送信されるメッセージはシステム登録時に指定されたものに変換されます。			

「識別コード」へ弊社より指定するコード3桁を登録して下さい。

メッセージ部分は固定ですので、変更は出来ません。通報先へはユーザー登録されたメッセージ内容が送信されます。

WhiteLock集中監視へ通報の場合

通報先の設定		全体の設定	送信メッセージ編集
識別コード			文字数
入力1 ON	ニウリツ1 ON		10
入力1 OFF	ニウリツ1 OFF		11
入力2 ON	ニウリツ2 ON		10
入力2 OFF	ニウリツ2 OFF		11
入力3 ON	ニウリツ3 ON		10
入力3 OFF	ニウリツ3 OFF		11
入力4 ON	ニウリツ4 ON		10
入力4 OFF	ニウリツ4 OFF		11
全解除	ゼンカイジヨ		8
停電	テイデン		5
復電	フクデン		5
定期通報	ダイキツウホウ		7
文字の種類 トーンモデム(半角21文字)			
トーンモデムへ送信できる文字数は半角で21文字です。全角文字は使用できません。大文字の英字、半角カタカナ、数字、一部の記号が使えます。半角カタカナの小文字(アイウエオヤツ)は使用できません。使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。識別コードは使用できません。			

送信できる文字数は半角で21文字で、大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。

- ※全角文字・小さいカタカナ「アイウエオヤツ」は使用できません。
- ※使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。
- ※識別コードは使用できません。

入力信号 1～4 の ON/OFF

入力1 ON	入力1 ON
入力1 OFF	入力1 OFF

各入力信号が「警報発生」した時に、該当する入力信号「ON」のメッセージ内容が送信されます。

また、「全体の設定」タブの「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックを付けている場合には、「警報解除」した時に該当する入力信号「OFF」のメッセージ内容が送信されます。

全解除

「全体の設定」タブの「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを付けている場合に送信されるメッセージです。

全解除	全解除
-----	-----

停電・復電

「全体の設定」タブで「停電や復電時に通報する」にチェックを付けている場合に送信されるメッセージです。

停電	停電
復電	復電

定期通報

「全体の設定」タブで「定期通報する」にチェックを付けている場合に送信されるメッセージです。

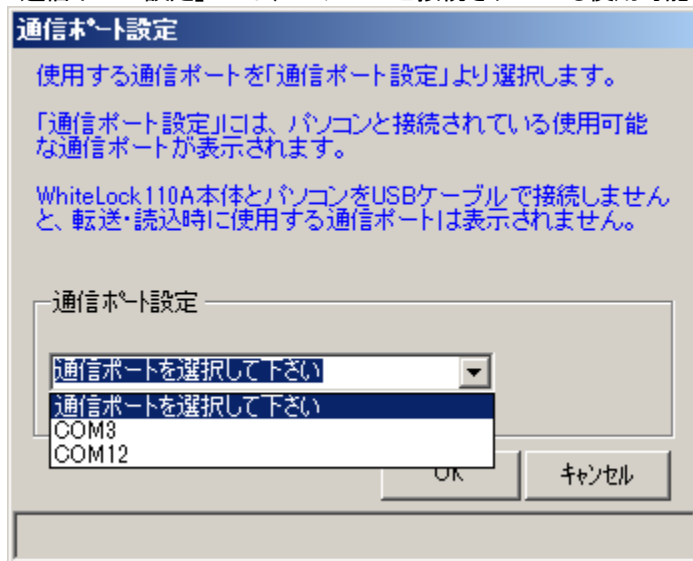
定期通報	定期通報
------	------

文字数

最大文字数までしか入力出来ません。識別コード分も加算されて表示されます。

通信ポートの確認

メニューから「通信ポート設定(0)」を選択します。
設定内容を転送・読込する際に使用する通信ポートを選択する事ができます。
「通信ポート設定」には、パソコンと接続されている使用可能な通信ポートが表示されます。



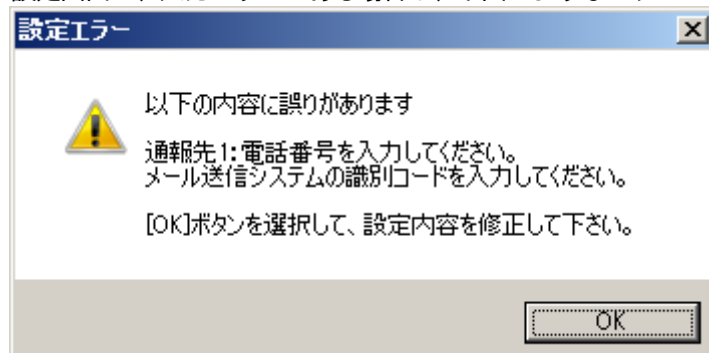
※WL110A_RN 本体とパソコンがUSB ケーブルで接続されていませんと、転送・読込時に使用する通信ポートは表示されません
※COM が複数表示された場合は、表示した状態で WL110A_RN 本体から USB ケーブルを抜いてみて下さい。USB ケーブルを抜くと消える COM が、WL110A_RN で使用可能な COM です。USB ケーブルを差し直すと再度表示されます。

本体とパソコンの接続

付属の「USB 通信ケーブル」で WL110A_RN とパソコンを接続します。WL110A_RN 側は「設定・PC」へ、パソコン側は USB のマークがあるコネクタに接続します。

設定内容の転送

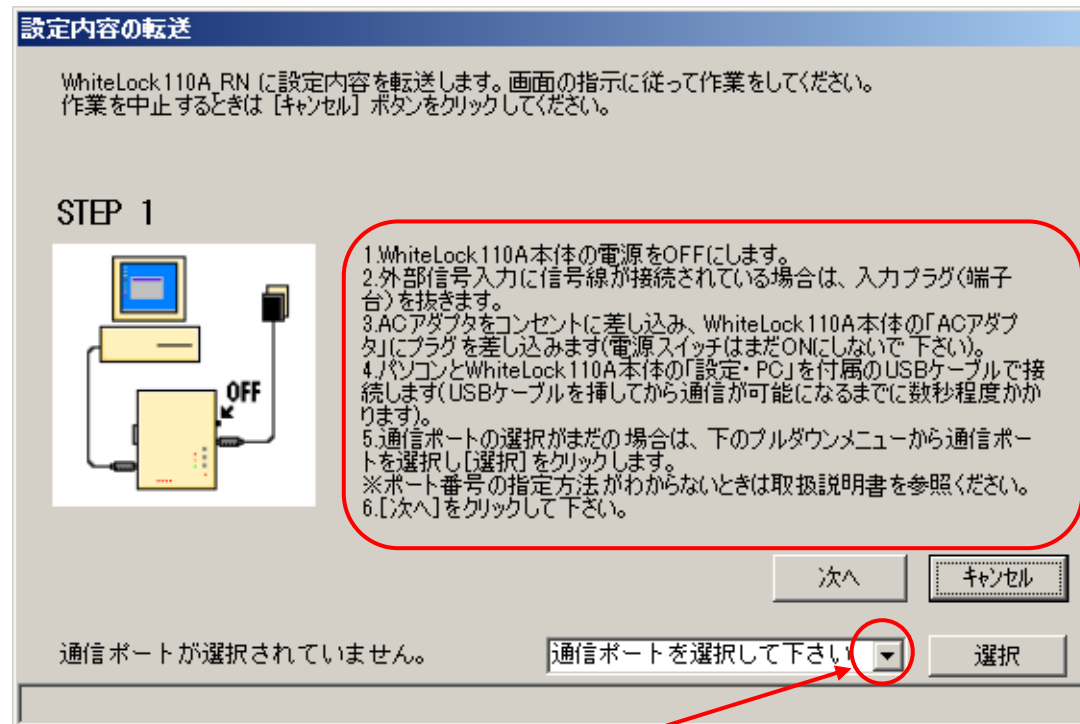
設定画面の入力が完了したら、メニューから「設定データ転送(R)」を選択して下さい。
設定画面で、入力エラーがある場合は、下図のようなメッセージが表示されます。



[OK]をクリックして、入力エラー部分を修正した後に再度「設定データ転送(R)」を選択して下さい。

設定内容の転送 STEP1 が表示されます。

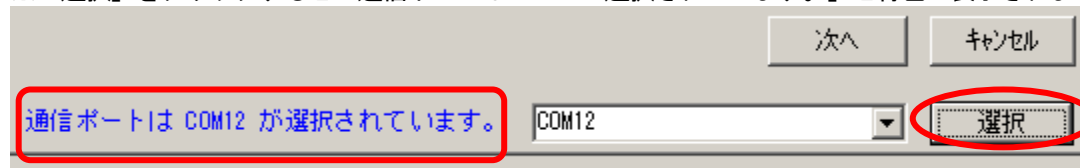
画面の指示に従って WL110A_RN 本体とパソコンを接続します。



※通信ポートの選択はここから行います。

表示される COM ポートから選択し、「選択」をクリックします。

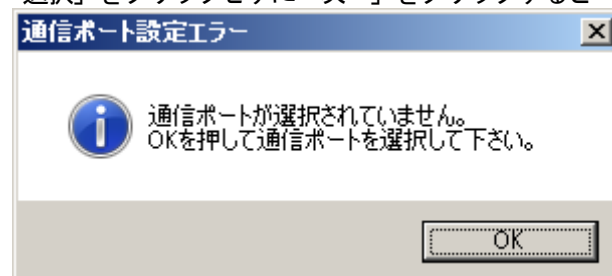
※「選択」をクリックすると「通信ポートは COM12 が選択されています。」と青色で表示されます。



※COM が複数表示された場合は、表示した状態で WL110A_RN 本体から USB ケーブルを抜いてみて下さい。USB ケーブルを抜くと消える COM が、WL110A_RN で使用可能な COM です。USB ケーブルを差し直すと再度表示されます。

※必ず AC アダプタから電源供給をしながら転送して下さい。

「選択」をクリックせずに「次へ」をクリックすると「通信ポート設定エラー」が表示されます。

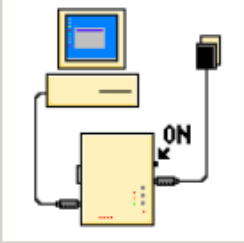


設定内容の転送 STEP2 の画面が表示されますので、指示に従って WL110A_RN 本体の電源を ON にします。

設定内容の転送

WhiteLock110A_RN に設定内容を転送します。画面の指示に従って作業をしてください。
作業を中止するときは「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

STEP 2



本体の電源をONにします。
ONにすると、すぐに設定内容の転送が始まります

進行状況  0% 100%

通信ポートは COM12 が選択されています。 COM12 選択

COM12で接続しています

進行状況が表示され、自動的にデータの転送が開始します。

※進行状況が100%になるまでは、電源スイッチを切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないで下さい。

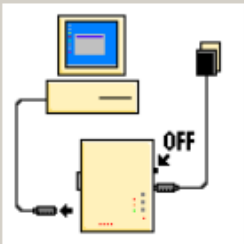
※COM ポートが間違っていると WL110A_RN 本体の電源を ON にしても進行状況が全く進みません。「キャンセル」をクリックし、もう一度「設定内容の転送」からやり直して下さい。

※COM ポートを確認しても転送が出来ない場合は、58ページの『設定内容が転送（又は読込）出来ない』を参照下さい。

設定内容の転送

WhiteLock110A_RN に設定内容を転送します。画面の指示に従って作業をしてください。
作業を中止するときは「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

転送終了後の確認



設定は正常に終了しました。
WhiteLock110A_RN 本体の電源をOFFにして、USBケーブルを外して下さい。
「閉じる」をクリックします。
(USBケーブルを外さないと「閉じる」をクリックできません)

※設定された内容は、必ず実際に動作させて確認下さい。
また、本体の取付等については取扱説明書をご覧下さい。

通信ポートは COM12 が選択されています。 COM12 選択

書き込み終了

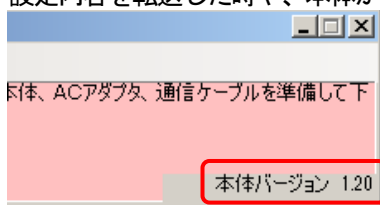
閉じる

進行状況が100%になると転送終了です。

WL110A_RN 本体の電源を OFF にし、USB ケーブルを外すと「閉じる」が有効になるのでクリックします。

設定画面に戻りますと、画面左上に WL110A_RN 本体バージョンが表示されます。

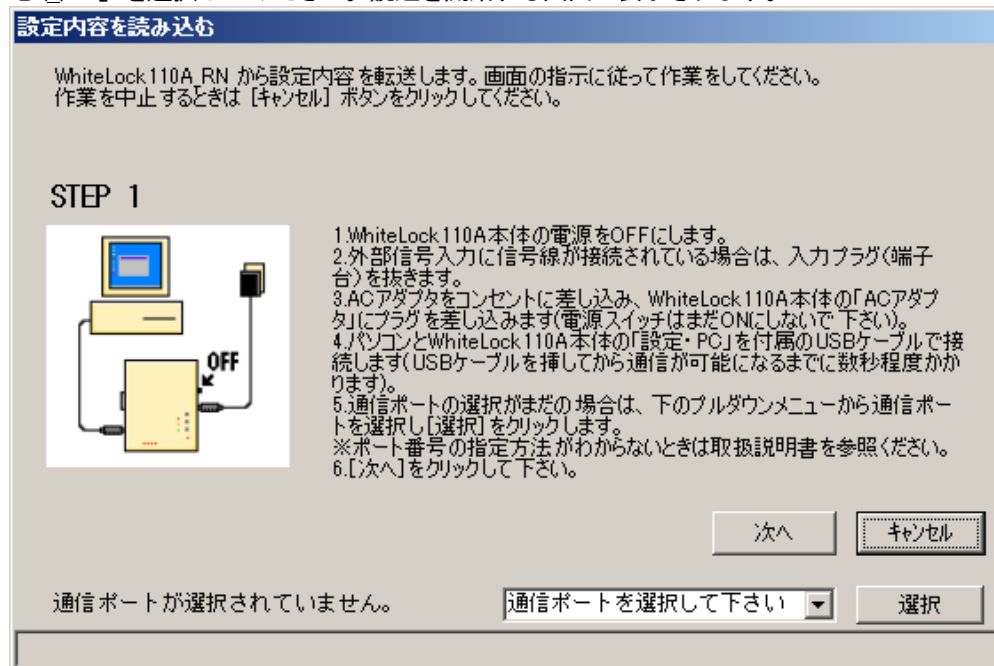
設定内容を転送した時や、本体から設定内容を読み込んだ時に表示されます。



本体から設定内容を読み込む

本体に現在保存されている設定を読み込みます。

本体が、どのような設定になっているか確認することができます。「ファイル(F)」メニューの「本体から設定を読み込む(R)…」を選択してください。読込を開始する画面が表示されます。

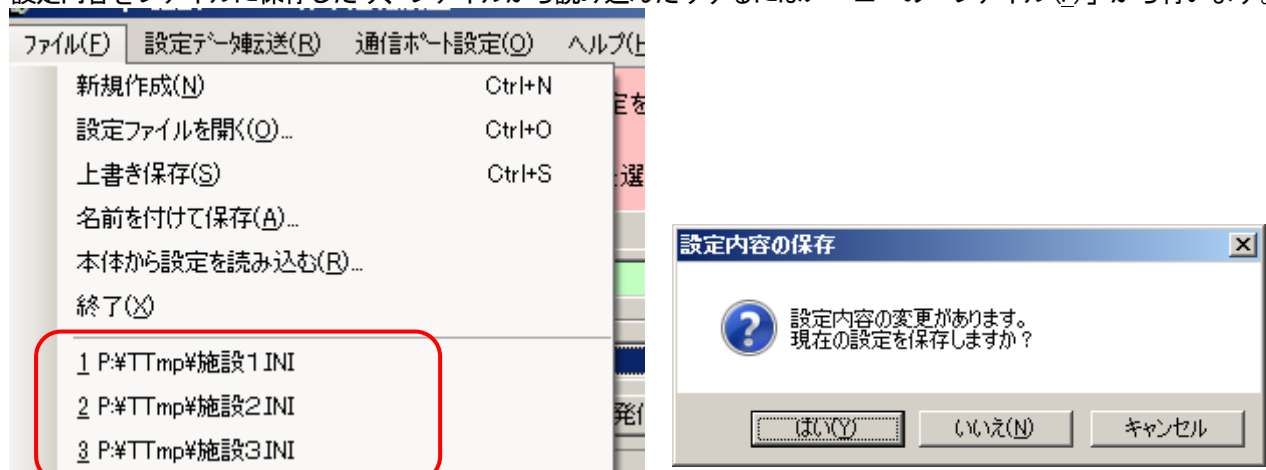


後は、画面の指示に従って操作をして下さい。

手順は「設定内容の転送」と同じです。転送終了後、本体から読み込んだ設定が画面に表示されます。

設定内容の保存と読み込み

設定内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりするにはメニューの「ファイル(F)」から行います。



以前に編集したファイル

過去に開いたファイルの履歴を 10 個まで表示します。表示されているファイルを選択すると、そのファイルを開きます。現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてきます。

新規作成

全ての設定項目を初期状態にします。「メール通報の設定」も未設定にします。通報先も全て「(設定しない)」, 送信メッセージも全て未設定にします。現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてきます。

設定ファイルを開く

保存した設定ファイルを開く場合は、[ファイル(F)] メニューの [設定ファイルを開く (O)] を選択し、開きたい設定ファイルを選択して [開く (O)] をクリックします。

現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてきます。

上書き保存

既に開かれているファイルに上書き保存する場合は、[ファイル(F)] メニューの [上書き保存 (S)] を選択します。

名前を付けて保存

設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)] メニューの [名前を付けて保存 (A)] を選択します。

本体から設定を読み込む

31ページを参照してください。

終了

設定ソフトを終了します。

録音再生

録音再生の概要

音声録音は8つの録音チャンネルが用意されています。各チャンネルを録音し、通報時はこれらを組み合わせて再生されます。各チャンネルの録音時間は最大20秒となります。

出荷時の録音内容

出荷時は下記内容が予め録音してあります。

録音チャンネル0	「こちらは非常通報装置ホワイトロックです」
録音チャンネル1	「入力1」
録音チャンネル2	「入力2」
録音チャンネル3	「入力3」
録音チャンネル4	「入力4」
録音チャンネル5	「全解除」
録音チャンネル6	「停電」
録音チャンネル7	「復電」

録音内容の例

録音チャンネル0	設置した場所や機械装置などの名前が解るような内容を録音します。 例：「こちらは××です」、「◎◎からののお知らせです」
録音チャンネル1～4	各入力信号1～4に対応した通報内容を録音します。 例：「〇〇の警報が発生しました」、「〇〇の故障が発生しました」
録音チャンネル5	全入力が解除したときに通報する内容を録音します。 例：「全ての警報は解除しました」、「全ての故障は解除しました」
録音チャンネル6	停電が発生した際に通報する内容を録音します。 例：「停電が発生しました」、「外部電源装置が故障しました」
録音チャンネル7	復電したときに通報する内容を録音します。 例：「復電しました」、「外部電源装置が復帰しました」

通報時の再生例（通常通報を受けた時）

入力信号が「警報発生」になったとき

「こちらは××です。〇〇の警報が発生しました。」
「◎◎からののお知らせです。〇〇の故障が発生しました。」

全入力が「警報解除」になったとき

「こちらは××です。全ての警報は解除しました。」
「◎◎からののお知らせです。全ての故障は解除しました。」

停電が発生したとき

「こちらは××です。停電が発生しました。」
「◎◎からののお知らせです。外部電源装置が故障しました。」

復電したとき

「こちらは××です。復電しました。」
「◎◎からののお知らせです。外部電源装置が復帰しました。」

録音再生の操作方法

録音は、付属のイヤホンマイクで行います。

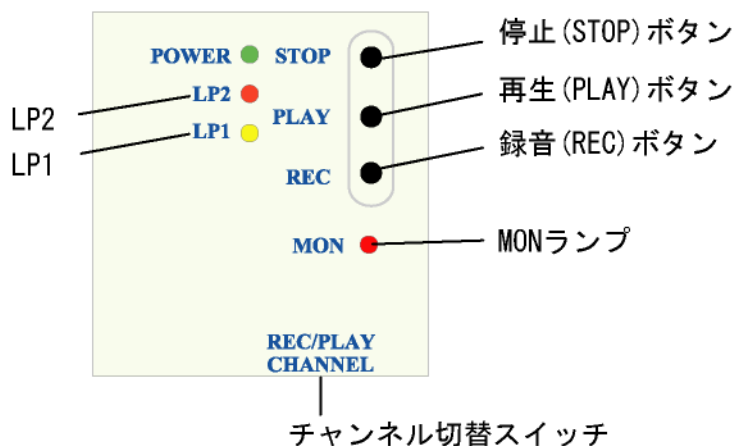
※録音再生を行う時は、必ず AC アダプタを接続して下さい。イヤホンマイクと AC アダプタ以外は繋げないで下さい。

※録音は、通報先を設定する前に行って下さい。通報先が設定してあると、電源を ON した際すぐに通報の動作する場合がある為、必ず全ての通報先を「（設定しない）」設定にしてから録音を行って下さい。録音が全て終わった後、改めて通報先の設定を行って下さい。

※大きな声で録音すると、再生音がひずむ場合がありますが、通報された電話機で聞くときはひずむことはありません。音量の調整は出来ませんので実際に通報を受けてご確認ください。

※音量調整ボリュームはありませんので、録音する音量で調整してください。各チャンネルの説明を読んで適当な内容を録音再生して確認してください。

1. 録音するチャンネルを「チャンネル切り替えスイッチ」で選択します。
スイッチを録音したいチャンネルにあわせませす。（スイッチカバーが付いていない場合は、小さいマイナスドライバーで回してください。矢印の指している番号が現在のチャンネルになります。）
2. 録音 (REC) ボタンと停止 (STOP) ボタンを同時に押します。
録音状態になると、MON (赤) と LP2 (赤) が点灯します。
3. イヤホンマイクに録音する内容をお話してください。
MON (赤) と LP2 (赤) が点灯してから 20 秒が経過すると自動的にどちらのランプも消えて録音が終了します。
※任意の位置までで、録音を停止させたいときは停止 (STOP) ボタンを押します。
4. 再生 (PLAY) ボタンを押すと、イヤホンから録音内容が再生されます。
再生中は MON (赤) と LP1 (黄) が点灯します。途中で録音を停止させた場合はその位置まで再生されます。
5. 録音が終わったら電源を OFF にして、イヤホンマイクを抜いてください。



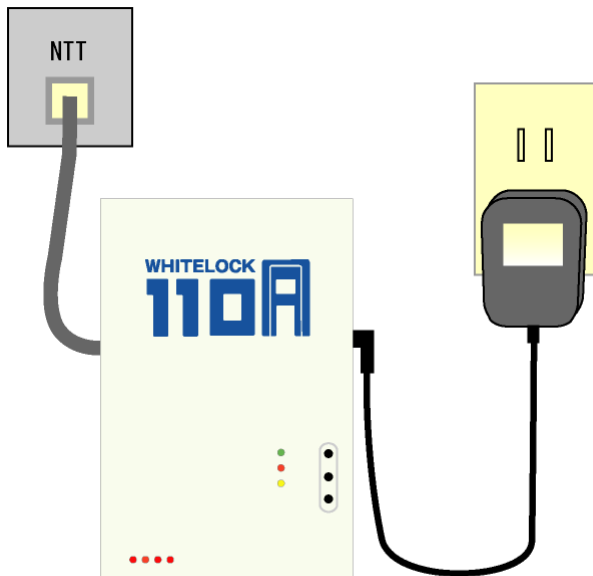
※ 録音再生が終了したら、必ず「チャンネル切り替えスイッチ」を「0」にしてください。

・慣れてくると、無音の状態が少なくなるように録音できるようになります。

動作確認

WL110A_RN の設定が終了したら、設定したように動作するか必ず確認して下さい。

1. 「電源スイッチ」を OFF にします。
2. AC アダプタの電源プラグを WL110A_RN の「AC アダプタ」に接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。接続方法は「ACアダプタの接続」44ページの説明をご覧ください。
3. 付属のモジュラーケーブルで電話回線と WL110A_RN の「電話回線」へ接続します。接続はカチッと音がして完全に差し込まれていることを確認してください。
4. 「チャンネル切替スイッチ」が「0」になっていることを確認します。
5. 「電源スイッチ」を ON にします。
6. 各入力信号(1~4)の端子と、共通端子(COM)をリード線等で結線させ通報させます。
○音声通報・・・通報先に電話がかかり、音声メッセージが流れるか確認します。
○タダ電通報・・・通報先で呼出音が鳴ってから、呼出音が数回で切れるか確認します。
○メール通報・・・通報先にメールが届いたか、内容を確認します。



※電話回線と AC アダプタを接続して動作確認を行ってください。

呼出の種類と通話時間

通報の種類

通報には「音声通報」「タダ電通報」「携帯メール(SMS)で通報」「メール送信システムへ通報」「WhiteLock 集中監視へ通報」の5種類があります。

※文字メッセージ通報は、「携帯メール(SMS)で通報」「メール送信システムへ通報」「WhiteLock 集中監視へ通報」のどれかひとつになります。

音声通報

音声通報は、一般電話、携帯電話、PHS 等へお客様がご自分で録音した音声で通報します。

タダ電通報

タダ電通報は、一般電話、携帯電話、PHS の呼出音を鳴らして電話を切ります。呼出音を鳴らすだけなので通話料金はかかりません。通報先が電話に出た場合でも「WL110A_RN」はすぐ電話を切ります。この場合は通話料金がかかってしまいます。電話機によっては、呼出音を鳴らさずに電話を取る場合があります。たとえば、留守番電話サービスやドライブモードなどです。その場合も料金が掛ってしまいますのでご注意ください。

携帯メール(SMS)で通報

SMS(ショートメッセージサービス)メールで携帯電話へ通報します。

※通報先はドコモの携帯電話機に限ります。ドコモ以外の携帯電話への送信は出来ません。

メール送信システムによる E メール通報

メール送信システムを利用した、E メール通報です。システムを利用するには、ユーザー登録が必要です。

WhiteLock 集中監視へ通報

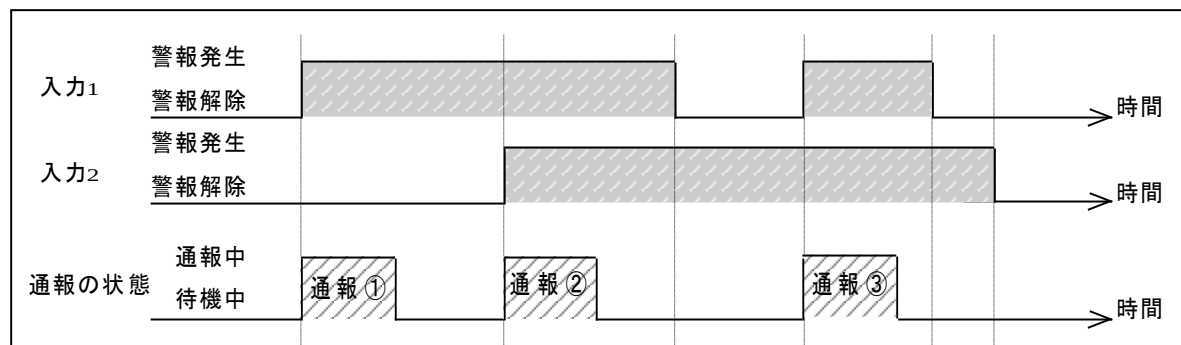
WhiteLock 集中監視へ通報は、弊社製品のトーンモデム(WhiteLock 集中監視)へ文字メッセージで通報を行います。トーンモデムをパソコンに接続し通報を集中監視することができます。

1 回の通報にかかる通話時間

- 「音声通報」の場合は、受信側が受話器を上げている時間によって異なります。但し、通報1回当たり最大120秒を過ぎると自動的に電話を切ります。
※ この場合、通報が正常に終わっていないものと判断し、リダイヤルします。
- 「タダ電通報」の場合は、呼出音を鳴らすだけなので通話料はかかりません。
- 「携帯メール(SMS)で通報」の場合は、送信するメッセージ文字数により通話時間が変わります。10文字の全角文字メッセージを送信する場合、通報開始より40秒程度です。
- 「メール送信システムへ通報」の場合は、弊社サーバーまでの通話時間になります。1つの通報についての通話時間は、28秒以下です。
- 「WhiteLock 集中監視へ通報」の場合は、文字数により通話時間が変わります。半角1文字送信するのに1秒かかります。10文字の全角文字メッセージを送信する場合は、電話をかけたり、切ったりする時間を含めて40秒程度です。

標準設定の時

入力信号が「警報発生」の状態になると通報を行います。

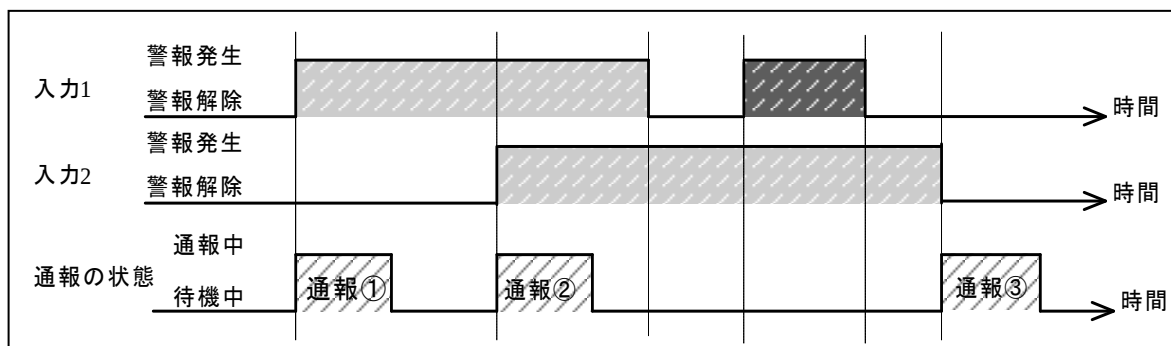


1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報する（通報②）
3. 入力信号1「警報解除」… 通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
4. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報③）
5. 入力信号1「警報解除」… 通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
6. 入力信号2「警報解除」… 通報しない（全解除呼出の設定がしていないとき）

全解除呼出設定

「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、全ての入力信号が「警報解除」の状態になると「全解除通報」を行います。

注）通報開始より「全解除通報」までの間、既に通報済みの入力信号の「警報発生」は通報しません。全ての入力信号が「警報解除」になった後に「警報発生」になると通報します。



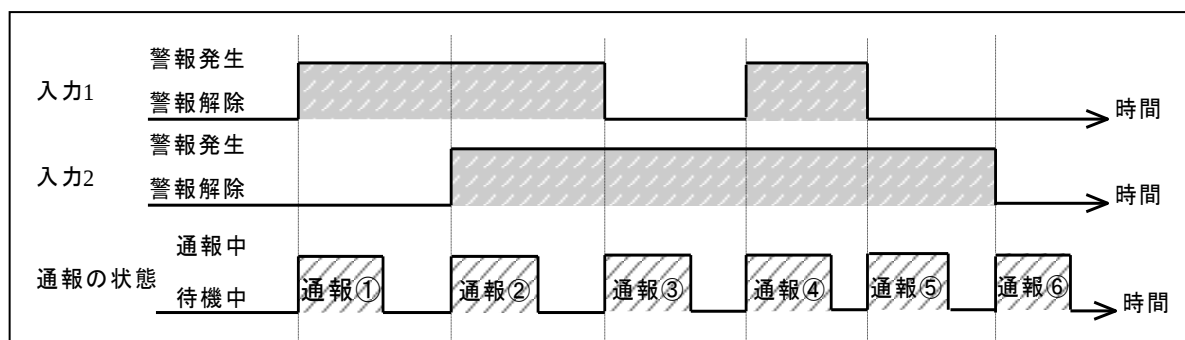
1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報する（通報②）
3. 入力信号1「警報解除」… 通報しない
4. 入力信号1「警報発生」… 通報しない（通報を行ってから「全解除通報」していないため）
5. 入力信号1「警報解除」… 通報しない
6. 入力信号2「警報解除」… 全解除通報する（通報③）

個別解除呼出

「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、各入力信号が「警報解除」の状態になると「個別解除呼出」を行います。

※文字メッセージ通報（携帯メール・メール送信システム・WhiteLock 集中監視）のみ「個別解除呼出」します。

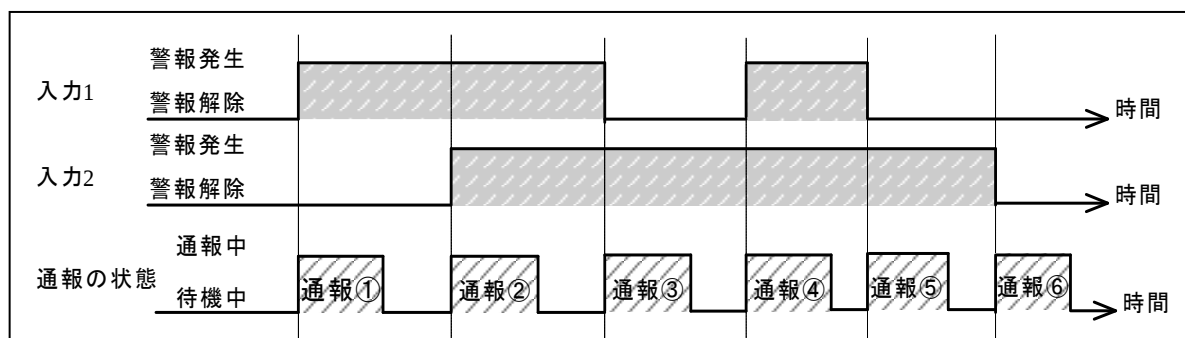
注）この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。個別解除呼出に設定すると、入力変化の度に通報しますから通報頻度が高い場合は通話料が多くかかります。入力信号が頻繁に変わるところで設定する場合は注意が必要です。



1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報する（通報②）
3. 入力信号1「警報解除」… 個別解除通報する（通報③）
4. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報④）
5. 入力信号1「警報解除」… 個別解除通報する（通報⑤）
6. 入力信号2「警報解除」… 個別解除通報する（通報⑥）

個別解除呼出と全解除呼出の両方を指定している場合

個別解除呼出と全解除呼出の両方を指定している場合は、個々の解除呼び出しを行い、全ての入力が解除になる最後の解除呼び出しが個別解除呼出ではなく全解除呼出になります。



1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報する（通報②）
3. 入力信号1「警報解除」… 個別解除通報する（通報③）
4. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報④）
5. 入力信号1「警報解除」… 個別解除通報する（通報⑤）
6. 入力信号2「警報解除」… **全解除通報**する（通報⑥）

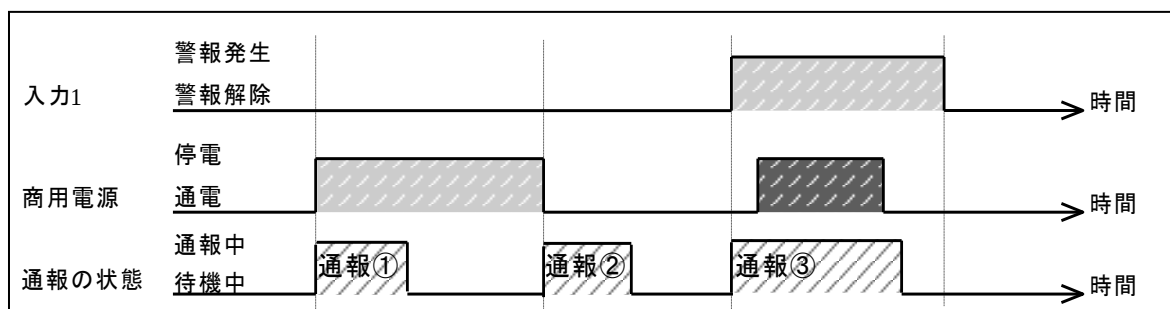
停電時発信

「停電や復電時に通報する」にチェックを入れた場合、商用電源からの電源供給が無くなった時に「停電通報」を、商用電源が復電した時に「復電通報」を行います。

※「携帯メール(SMS)で通報」「メール送信システムへ通報」「WhiteLock 集中監視へ通報」の場合、停電時のメッセージ、復電時のメッセージとなります。

※停電通報は「全解除呼出」や「個別解除呼出」とは関係なく、別の呼出として通報します。

注) 停電通報後、停電保証電池の残量が一定電圧以下になると、本体は停止します。復電時に本体は再起動しますが、この時の復電通報は行いません。停電保証電池が一定電圧以下になる前に復電した場合は復電通報を行います。



1. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報する (通報①)
2. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報③)
4. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報しない (入力信号 1 の通報中のため)
5. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報しない (停電通報を行っていないため)

定期通報

設定で「定期通報する」にすると、指定した時間毎に通報を行います。

1時間毎から255時間(約10日)毎に設定できます。例えば、48時間毎に定期通報させれば、2日毎に通報が来ますので通報装置が正常に動作しているか確認できます。

※定期通報は通報先の種類が「携帯メール(SMS)で通報」または「メール送信システムへ通報」または「WhiteLock集中監視へ通報」の場合のみ通報します。

※定期通報の通報内容では、入力信号の状態は確認出来ません。

※正常に通報が終了しなかった場合はリダイヤルします。(リダイヤル回数の制限無しの場合)

※WL110A_RNIにはタイマーが内蔵されていない為、1日で約10分程度のずれが生じます。

通報終了の条件

1つの通報先を終了する条件

それぞれの通報先で通報が終了したと判定される条件。

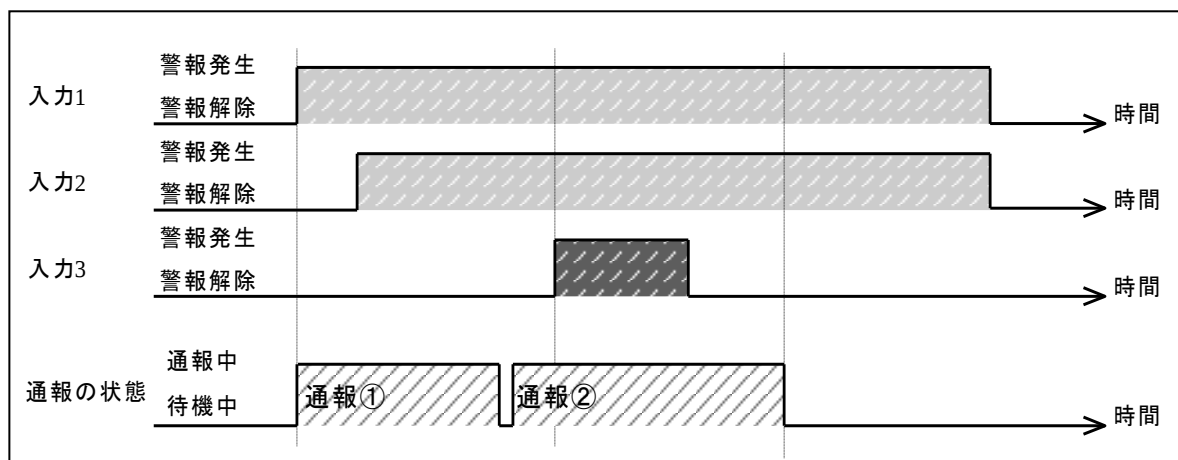
- 音声通報の場合、通報先が電話に出てから 120 秒以内に電話を切ると、その通報先への通報は終了となります。
(110A_RN は通報先が 30 秒以内に電話に出ないとき、一旦電話を切ってかけ直す動作をします)
- タダ電通報の場合、110A_RN が呼出音を確認できたら、その通報先への通報は終了となります。通報先の呼出音が鳴る回数は不定です。
- 携帯メール(SMS)の場合、ショートメッセージセンターが電話に出て、文字メッセージを預かった後、電話が切れると終了となります。
- メール送信システムの場合、サーバーがメッセージ内容を受け取ると終了となります。
- 通報先が話中や、通報先の携帯電話が圏外か電源 OFF の場合、再度電話をかけます。
- 音声通報の場合、通報を受けた電話機で#を押すと通報終了となります。
※PBX（内線交換機）で電話を切ったあとの話中音の周波数が違う為、通報を終了出来ない場合に、#を押すことで通報終了とさせることができます。

複数の通報先を終了する条件

- 通報する順番は通報先1～6の順番に行います。
- 全ての通報が終了するまで通報先1～6を繰り返し行います。
- 通報が終了した通報先には通報しません。順番を飛ばします。
- 通報先が話中、圏外などで通報が成功しなかった場合は、次の通報先を試みます。
- 複数の通報先を設定した場合、「必ず通報」か「何所か1カ所」の設定により終了条件が変わります。
- 「必ず通報」の設定をした通報先は、他の通報先とは関係なく成功するまで行います。
※但し、「リダイヤル回数」が「制限無し」に設定してある場合に限り、回数が設定してある場合は、設定回数リダイヤルした後に終了します。
- 「何所か1カ所」を通報先1カ所へ設定した場合は、必ず通報します。
- 6カ所すべて「必ず通報」の設定をした場合、6カ所すべてに通報が終了するまで繰り返します。
- 6カ所すべて「何所か1カ所」の設定をした場合、6カ所中の何所か1カ所に通報成功すると、他の5カ所には通報しません。

通報を終了するまでに発生した警報

通報中に新たに発生した警報は、現在の通報が設定通りに終了しない限り通報を開始しません。
通報中に発生した警報は記録していません。通報終了時に入力信号の状態を確認します。



1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報①が終了後に通報する（通報②）
3. 入力信号3「警報発生」… 通報しない（通報②が通報中に発生し解除したため）

リダイヤルについて

通報が正常に終了しない場合、LP1(黄)が10秒間低速点滅して再度電話をかけます。

設定でリダイヤル回数を0～9回、または制限無しに設定できます。

※通報先を「必ず通報」に設定していても、「リダイヤル回数」が「0～9回」に設定した場合は、通報が成功していなくても設定した回数以上は通報を試みませんのでご注意ください。

設置方法

設置場所を決める

110A_RN を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。壁や天井などに取り付ける場合は、付属の取付足をご使用下さい。また、本体と接続されるコード等が余裕をもって設置出来るような空間を確保して下さい。

接続工事

本体側の電話回線

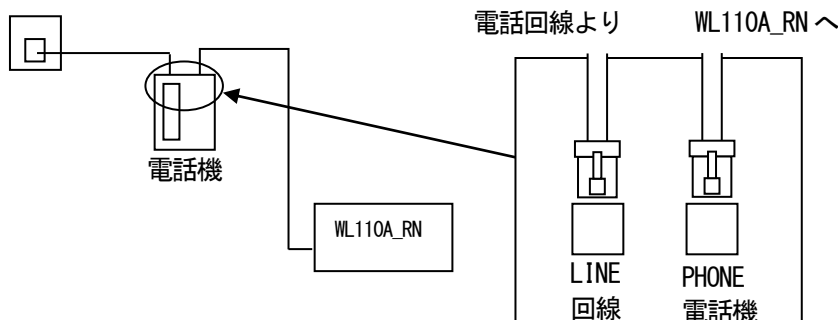
NTT 仕様の 2 線式のプッシュ回線及びダイヤル回線。ISDN 回線をご利用の場合は、TA(ターミナルアダプタ)のアナログポートに接続します。

※モジュラーコードを 10m 以上でご使用するのはお止め下さい。モジュラーコードの場合、抵抗値が低くなる為に正常動作しない恐れがあります。10m 以上の場合は、必ず配線用コード 0.4mm をご使用下さい。

他の電話機や FAX などの回線と併用するとき

本製品を既設の電話機やモデムの回線と併用するときは、終端に接続されるか、モジュラージャックを分配する自動転換器をご使用下さい。

電話回線の終端に接続する場合



電話機、モデム等のモジュラーケーブル差込口
(差込口に明記されている LINE や、PHONE 等の文字は、必ずしも上記と同じものとは限りません。ご使用の機器の接続方式に従ってモジュラーケーブルを接続して下さい。)

モジュラージャックを分配する場合

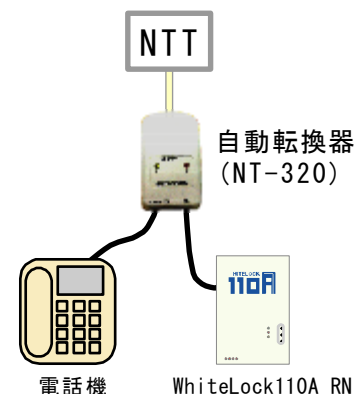
自動転換器(先取り機能付き*)を使用することにより、電話回線を他の機器と分配して使用することが出来ます。

*先取り機能とは、電話回線を先に使用している機器以外の機器の、電話回線使用が出来なくする機能です。

※単純な分配器を使用した場合、通報中に電話機の手受器を上げた時に通報内容やプッシュトーンが聞こえ、混信によって通報が正しく行われなくなる可能性があります。

※自動転換器を使用して、1 本の電話回線で複数台の WL110A_RN をご使用する事も出来ます。3 台の場合は 3 口自動転換器を、4 台の場合は 4 口自動転換器をご使用下さい。

※自動転換器はナカ電子の NT-320 を推奨します。(オプション品で販売)



入力端子接続

接続

各信号はCOM（共通端子）と1～4の間に接続します。COM（共通端子）は端子の端から2番目になっていますので、お間違えのないように接続して下さい。信号は無電圧a接点（無電圧b接点）又は、オープンコレクタを接続します。

※接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用（AC）100Vや直流電圧がかからないようにしてください。

※設定ソフトで各入力のア接点、b接点を変更することもできます。

※1つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などとすることもできます。

※入力信号は700ミリ秒以上（初期値）の間継続して警報発生（解除）した時に、入力変化があったとみなします。

端子台

信号入力はコネクタ端子台になっています。端子台は圧着端子不要のワンタッチ式（又は押締方式）で直接電線を接続できます。また、配線工事、メンテナンスの際にはワンタッチでコネクタを抜いて配線作業が行えます。

【ネジ締め式端子台】

信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG28～AWG16 単線 0.5Φ～1.3Φ

電線むき長さ 7mm

締めつけトルク 0.22～0.25N・m

単線 又は より線

注意：電線の先端は予備ハンダをしないでください。

【ワンタッチ端子台】

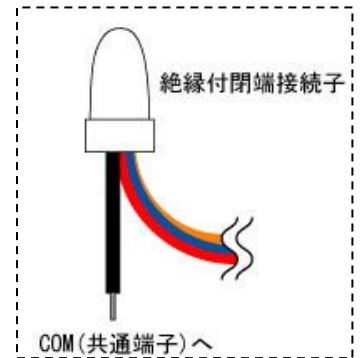
信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG24～AWG16 単線 0.5Φ～1.3Φ

電線むき長さ 9～10mm

単線 又は より線（棒端子併用を推奨）

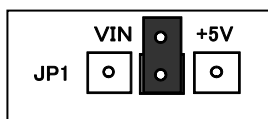
* 電線を端子に接続後は引っ張るなどし、抜けないことを確認下さい。まれに端子内部の金具に挟まっていない場合があります。

* 複数の信号線をCOM（共通端子）に接続する際は、絶縁付閉端接続子でまとめて下さい。（右図参照）

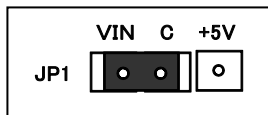


センサー用電源+V 端子

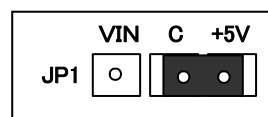
外部センサーなどの電源に利用するためのセンサー用電源（入力端子の+V）が出力されます。出荷時には電圧が出ておりません。ケースの蓋を開けると、「JP1」のジャンパがあります。（入力端子横）このジャンパに短絡ソケットを差すことで「出力無し」、「DC5V」、「ACアダプタの出力をそのまま」の切り替えができます。



・ショートしない(出荷状態)
出力無しの状態。

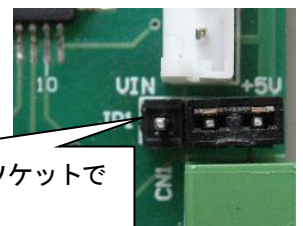


・VINをショート
ACアダプタの出力をそのままの+V端子へ出力します。停電時はACアダプタからの出力がなくなりますから+V端子への出力もなくなります。



・+5Vをショート
5Vを出力します。停電時は停電保証用充電電池から+V端子に繋がれている機器に電源を供給しますので、停電保証時間が短くなります。

+5Vのジャンパを短絡ソケットでショートした状態です。



蓋を閉める際にご注意下さい

WL110A_RNの蓋を開けて閉める時にはLEDやボタンがケースに当たらないようにご注意ください。無理に閉めようとすると破損する場合があります。

取付足

本体を固定する場合は、ケース裏面のビス 4 個を外し、「取付足」を付属のビスで下図のように本体に取り付けて下さい。

注意: 付属のビス以外のもの使うとケースの表面にネジ頭が飛び出ることがあります。

※固定用ビスは、M3 サイズです。



AC アダプタの接続

AC アダプタから伸びているコードのプラグを WL110A_RN の「AC アダプタ」にさし込み、AC アダプタ本体をコンセントに差し込みます。

※POWER (緑) は電源スイッチ ON の時、AC アダプタから電源供給が無いときでも、停電保証用充電池からの電気が供給されていると、点灯します。

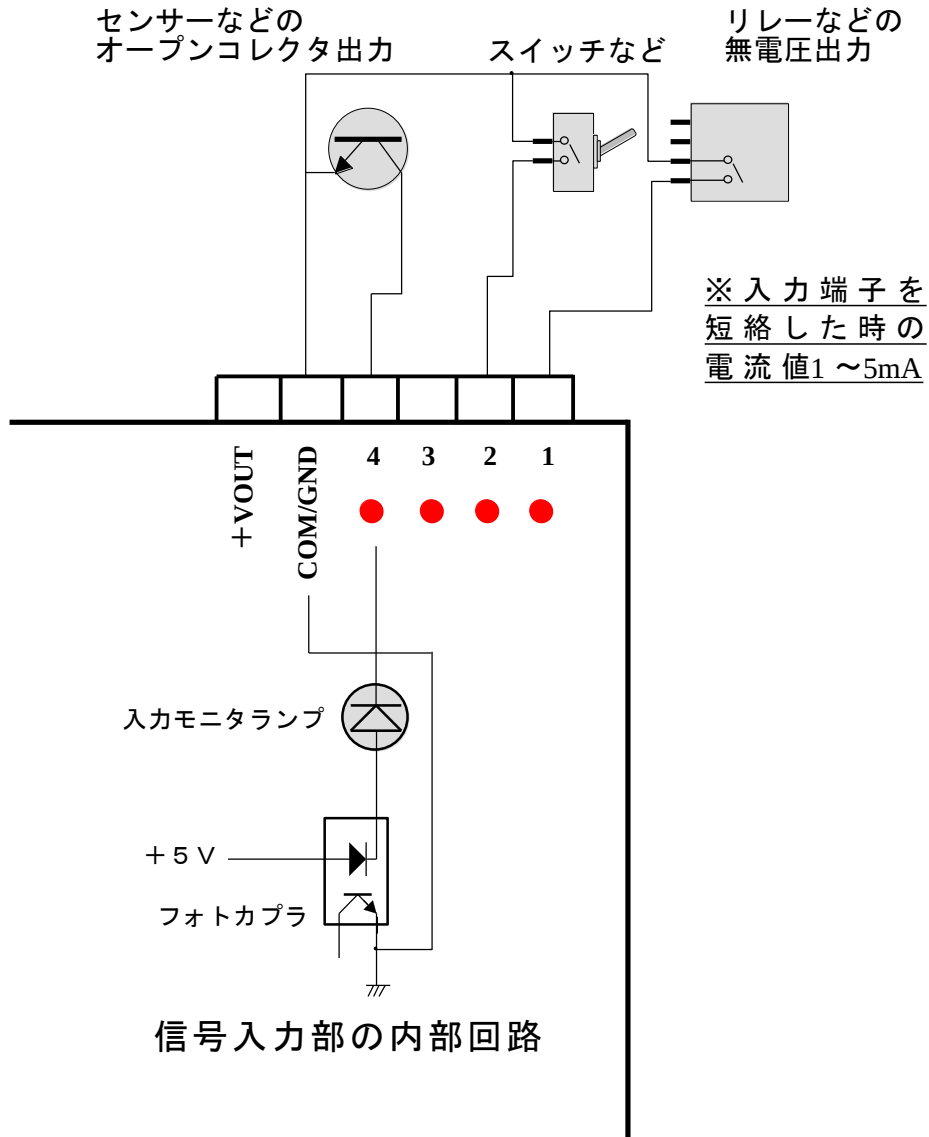
※制御盤内部の AC コンセントを利用する場合、AC コンセントに電気がきていない事があります。制御盤内部のブレーカーやスイッチでコンセント電源を入り切り出来る場合はご注意ください。停電保証用充電池を取り外した状態で、電源スイッチを ON にしたとき POWER (緑) が点灯すればコンセントに電気がきています。

運転の開始

実際に現場に取り付けて使用するときは、次のことに注意してください

- ・停止 (STOP) ・再生 (PLAY) ・録音 (REC) ボタンを押さないで下さい。通常の監視状態でも録音再生が可能になっています。また、音声再生中や録音中は通報できません。
- ・運用中はイヤホンを挿したり抜いたりしないでください。
- ・音声チャンネルは『 0 』にしてください。

信号入力部の内部回路



通報の受信

受信装置

音声通報、タダ電通報を受信できるのは、一般電話機、携帯電話、PHS です。

携帯メール(SMSメール)を受信できるのは、ドコモの携帯電話機だけです。また、ドコモの携帯電話機でも、SMS受信拒否設定をしていると、受け取ることが出来ませんのでご注意ください。

メール送信システムを利用したEメール通報を受信出来るのは、Eメールを受け取れるパソコン、又は携帯電話機です。WhiteLock集中監視の場合、電話回線よりトーンモデムを介してパソコンで通報を受けます。

音声通報を電話機で受信したとき

電話のベルが鳴ったら受話器をとります。最初に録音チャンネル『0』の音声聞こえ、続いて該当する入力信号に対応する録音内容が聞こえます。受話器を上げている間繰り返します。

「WL110A_RN」は通報先が受話器をとってから 120 秒を過ぎると、通報装置が電話を切ります。この場合はしばらく待つと再び電話がかかってきます。120 秒以内に受話器を下ろせば（受信した側で電話を切る）、通報装置は正しく相手に通報できたと認識して以後通報はしません。

携帯メール(SMS)を受信する場合

ドコモの携帯電話機のみ受信出来ます。また、SMS 受信許可されているものに限りです。

※SMS 受信拒否設定の場合、多額の電話代が請求される場合がありますのでご注意ください。また、拒否設定により発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。

メール送信システムを利用した場合

弊社サーバーが通報を受け取ると、登録された通報先（メールアドレス）へ通報のメッセージが一斉送信されます。通報先には、弊社サーバーからのEメールが届きます。

メッセージは、ユーザー登録時に登録した内容となります。登録内容の変更も可能です。

WhiteLock 集中監視の場合

集中監視システムが入ったパソコンへ、電話回線よりトーンモデムを介して文字で表示されます。

動作モニタ

表示モニタランプ

起動時

電源 ON で POWER (緑) が点灯します。その他のランプは機種や動作によって変わります。

回線の種類が「自動判定」の場合

電源 ON で LP1 (黄)・LP2 (赤) が点灯します。

2 つとも点灯した 3 秒後にどちらかが先に消えた後もう一方が 0.5 秒後に消えます。

プッシュ回線なら LP2 (赤) が先に消え、ダイヤル回線なら LP1 (黄) が先に消えます。

回線の種類が「プッシュ回線」の場合

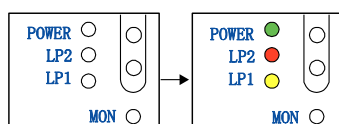
電源 ON で LP1 (黄)・LP2 (赤) が点灯します。

0.5 秒後に LP2 (赤) が先に消え、その後 LP1 (黄) が消えます。

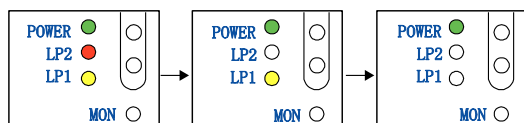
回線の種類が「ダイヤル回線」の場合

電源 ON で LP1 (黄)・LP2 (赤) が点灯します。

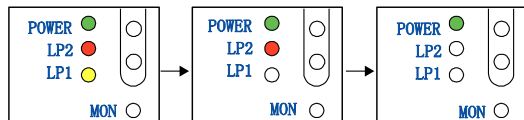
0.5 秒後に LP1 (黄) が先に消え、その後 LP2 (赤) が消えます。



電源ON時



プッシュ回線の場合



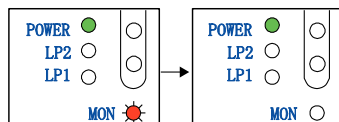
ダイヤル回線の場合

電池で動作している場合 (AC アダプタから電源が来っていない状態)

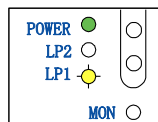
MON (赤) が 10 回高速点滅します。

「電源 ON 時に 60 秒間入力信号を無視する」にチェックが入っている場合

電源を入れると、LP1 (黄) が 60 秒間低速点滅します。

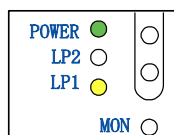


MONランプ10回高速点滅

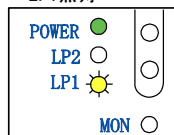


電源ON時に60秒間LP1ランプ低速点滅

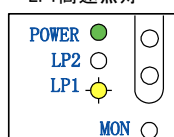
通報の状態から見たとき



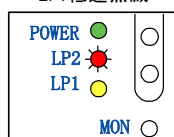
1. 電話を接続中
LP1点灯



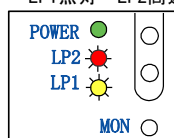
2. 話中
LP1高速点滅



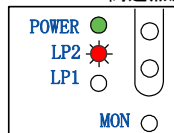
3. リダイヤル待機中
LP1低速点滅



4. 通報先が電話に出なかった
LP1点灯・LP2高速点滅

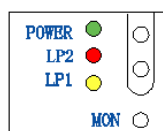


5. 使用されていない番号に
かけた場合
LP1・LP2高速点滅



6. 通報終了
LP2高速点滅

- 電話を接続中
「LP1 (黄)」点灯。(受話器を上げたときから受話器を下ろすまでの間)
- 話し中であったとき
「LP1 (黄)」高速点滅(3秒間)。このあと3項に進む。
- リダイヤル待機中
「LP1 (黄)」低速点滅(リダイヤルを開始するまで)。待機時間終了で1項へ進む。
- 相手が電話に出なかったとき
「LP2 (赤)」高速点滅(3秒間)。このあとで「LP1 (黄)」が消灯。3項へ進む。
- 使われていない番号にかけたとき
または回線が繋がっていないとき
「LP1 (黄)」と「LP2 (赤)」が交互に高速点滅(3秒間)。3項へ進む。
(通報先の電話番号と、接続している電話回線の状態の確認が必要)
- 通報終了
通報先が受話器を取り、通話後に受話器を下ろして通報が終わったとき(音声通報)
「LP1 (黄)」は消灯し、「LP2 (赤)」が高速点滅(6秒間)。
その後「LP2 (赤)」は消灯。



設定モードのとき
「LP1 (黄)」、「LP2 (赤)」とも点灯

設定モード中
LP1・LP2点灯

ランプの点灯状態から見たとき

LP1 (黄)	LP2 (赤)	通報の状態
消灯	消灯	電話が切れている/通報は全て完了している/入力信号待ちの状態
点灯	消灯	電話をかけているとき(受話器を上げている状態)
低速点滅	消灯	リダイヤル待機中
高速点滅	消灯	通報先が話し中の時
点灯	高速点滅	通報先が一定時間電話に出ず、通報装置が電話を切った後の3秒間
消灯	高速点滅	通報が正常に終わった後の6秒間
高速点滅	高速点滅	使われていない番号にかけたとき 回線が繋がっていないとき
点灯	点灯	設定モードのとき

停電保証について

停電保証用充電電池が新品で満充電の場合は、2時間以上動作します。入力信号が全て解除の状態、音声通報を10回程度行った場合です。入力ランプが点灯している場合や、センサー用電源を使用している場合は、その分電力を消費しますので、保証時間は短くなります。

停電保証用充電電池

製品に付属の停電保証用充電電池は、ニッケル水素充電電池です。

停電保証用充電電池の充電はACアダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは、電源スイッチがOFFの状態でも充電しています。

※充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置として使用されないときはACアダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。

※停電保証が不要な場合は、電池を取り外してください。

※停電保証用充電電池の交換によって、設定内容や音声メッセージが消去する事はありません。

停電保証用充電電池は2年程度の使用が可能です。手動で、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にした時に、停電保証が必要な時間内にPOWER（緑）が暗くなるようでしたら交換が必要です。

ACアダプタから電源を供給せずに、本体電源ONにしてご使用される場合や、停電が長引いて停電保証用充電電池の電圧が完全に無くなった時は、完全充電までに72時間以上かかることがあります。

停電保証用充電電池の交換をするときは、ケース裏面の電池蓋をスライドさせて蓋をはずしてください。

交換品は、必ず **ニッケル水素充電電池 006P 9V 型 250mAh 以上** をご使用下さい。

※アルカリ乾電池をつなげますと火災の原因となります。爆発するおそれもありますのでご使用は絶対にお止め下さい。



電池蓋を外すときは、[OPEN]と書いてある部分を指で押しながらすライドさせます。

Q & A 困ったときにご覧下さい

一般的なご質問	51
通報・設定についてのご質問.....	53
携帯メール(SMS)通報についてのご質問.....	56
メール送信システムについてのご質問	57
設定ソフトについてのご質問.....	58

一般的なご質問

Q. 接続出来る一般回線とは

- A. 使用出来るのは、NTT仕様で2線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。
NTT準拠のアナログポートにつなげて下さい。
例えば ISDN回線・ADSL回線・ひかり電話・IP電話・PBX
*それぞれ専用の信号変換機器やモデム又はターミナルアダプタのアナログポートに接続します。
注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。
使用出来ない回線は携帯電話機・PHS・ビジネスホン・ホームテレホン・4線式電話機・専用線です。

Q. 装置はISDN回線を使用できますか？

- A. ISDN回線に直接接続することは出来ません。ターミナルアダプタのアナログポートをお使い下さい。

Q. 内線発信に対応していますか？

- A. 対応しています。「PBX（内線交換機）での使用について」11ページをご覧ください。

Q. 社内の内線が0発信ではなく「*0」で外線に発信するようになっていきます。対応できますか？

- A. 「*0」による外線発信は可能です。設定ソフトの「外線発信番号」を押して入力すると「0, , 」と電話番号の先頭に入力されます。その後で「*0, , 」に修正してください。「, , 」は0.5秒待つという意味ですので待ち時間がもっと必要なら「, , 」を追加してください。

Q. 1本の電話回線で複数のWL110A_RNを使用したいのですが。

- A. 自動転換器を使用すれば、最初に受話器を上げた方の回線が有効となり、他の回線を割り込ませないのが可能です。
WL110A_RNを2台ご使用したい場合は、2口自動転換器（オプション品の『NT-320』）をご使用下さい。

Q. 取り付けは素人でも出来ますか？

- A. 侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取り付けできます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

Q. 屋外に設置したいのですが。

- A. 製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所では適当なケースに組み込んでください。

Q. 200V用の製品はありますか。

- A. ございません。单相複巻きトランス(30VA～50VA)で200Vを100Vに変換してご使用下さい。
※一次側と二次側を間違えて接続しないで下さい。必ず、接続は電気工事屋へご依頼下さい。

Q. 装置を取り付けるところに電源が無いのですが。

- A. 充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。その際には、オプション品の『DC/ACインバータ』をご使用下さい。

Q. どの位の大きさですか？

- A. ケーブルや突起部分を除いて、横 90×縦 135× 厚み 35 (mm) です。

Q. 業務用に使った場合に問題はありますか？

- A. まったく問題ありません。

Q. 保証はありますか？

- A. はい、ご購入後1年間です。

Q. 装置の寿命は、どれくらいですか？

- A. 故障するケースで最も多いと考えられるのは電話回線や電源からカミナリが入る場合ですが、これはモデム通信装置などでも同様です。防止策としては業務用の回線用避雷器や電源避雷器を組み込むことで改善されます。
期待寿命は5年です。機器には寿命のある部品が使用されています。これらの電子部品は、一般の電気機器と同様に時間経過とともに劣化・磨耗していくため予防保全の観点から定期的に交換を行うことが必要です。これは機器の機能・性能を保証するものではありません。適切に定期点検が実施され、機器の設置環境に支障がない場合です。

Q. 付属の充電電池はどれくらいの期間使用できますか？

A. 2 年程度の使用が可能です。もし、停電状態（AC アダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に POWER (緑) が暗くなるようでしたら交換が必要です。

Q. マイクやスピーカーは付属していますか？

A. はい、イヤホンマイクが付属しています。

Q. USB 通信ケーブルをなくしてしまったのですが。

A. 市販の USB 通信ケーブル A (オス) - B (オス) を購入して下さい。

Q. イヤホンマイクをなくしたのですが

A. 携帯電話用イヤホンマイク（平型）です。量販店等で市販されています。

Q. 1 つのセンサーを 2 台の WL110A_RN に接続できますか？

A. 2 つの無電圧接点信号を並列に WL110A_RN へ接続する事は可能です。1 つの回線で 2 台の WL110A_RN を使用する場合は、2 口自動転換器をご使用下さい。

Q. 1 つの入力接点に 2 つのセンサーを接続できますか？

A. 可能です。

Q. 付属された AC アダプタとは別の AC アダプタを使用したいのですが。

A. 付属品以外の AC アダプタを使用されますと動作保証外となり、保証が効かなくなりますのでおやめください。

Q. 入力 LED が点灯しないのですが

A. COM/GND と入力 1（又は 2~4）を短絡させて下さい。+V (+V OUT) と入力 1 を短絡させても点灯しません。端子台とケースの印刷を確認してください。

Q. 2 秒間の無電圧接点出力のあるパッシブセンサーを使用できますか？

A. できます。700 ミリ秒以上 (初期値) の間継続して警報発生 (解除) した時に、入力変化があったとみなし通報します。この時間は設定ソフトで変更可能です。

Q. 無電圧接点を 10m くらいの線で入力させても問題ありませんか？

A. 問題ありません。50m までであれば、0.75mm² 以上の線で雷対策（埋設）を行えばご使用頂けます。誘導雷の混入を防ぐ為に必ず埋設して下さい。

Q. センサー用電圧が出ないのですが？

A. 「+V」端子は、外部センサーなどの電源に利用するための電源出力ですが、出荷時には電圧が出ておりません。ケースの蓋を開けると、「JP1」のジャンパがあります。短絡ソケットで「出力無し」、「DC5V」、「アダプタの出力をそのまま」の切り替えができます。43 ページの「センサー用電源 +V 端子」を参照してください。

通報・設定についてのご質問

Q. 音声通報で通報先が電話に出ていないのに通報装置は正常終了してしまう

- A. 通報先が携帯電話機の場合、着信から一定時間内に電話に出ないと、自動的にアナウンスが流れる事があります。この場合、通報装置は通報先が電話に出たと認識し正常終了します。実際に通報先へ電話をかけてアナウンスが流れるかどうかを確認して下さい。
アナウンス例「おかけになった電話をお呼びしましたがお出になりません。」

Q. ひかり電話に接続していますが通報がきません

- A. NTT ひかり電話の場合、最後の番号をダイヤルしてから約4～6秒後に発信します。発信までに時間が掛かる為、通報出来ません。直ぐに発信させるには、設定ソフトで通報先電話番号の最後に「#」を入れて下さい。
注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

Q. 設定をしたのですが通報がきません（音声・タダ電）

- A. 設定内容で『通報先の電話番号』を入力する際にハイフンは入れないで下さい。ハイフンを入れると、最初のハイフンまでの番号のみ登録しますので通報がきません。登録した設定内容を読み込み、確認して下さい。

Q. 音声通報で通報先の電話に出たのに無音のままです。

- A. 通報装置が呼出音（ブルル音）を検出できないため、音声の再生が始まらない状態です。
コール音（又は着信音）が3回以上鳴ってから電話をとってください。

【 通報先が携帯電話の場合 】

・通報先の携帯電話がiモード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音（ブルル音）が聞こえない状態があります。この場合、通報先では5回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ないと、正常通報になりません。

・通報先の携帯電話が『メロディコール』（ドコモ）又は『待ちうた』（au・ソフトバンク）サービスに契約されていると、電話をかけた側には呼出音がブルル音に音楽が混じって（又は音楽のみ）聞こえます。この場合、通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号（通報装置から発信する番号）の設定をブルル音に変更して下さい。

Q. 電話が繋がらない

- A. ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4線式電話回線に接続することは出来ません。接続すると、必要以上の電流が流れてWL110A_RNが故障します。
PBX交換機を介した接続についての注意は、11ページをご覧ください。また、普通の電話機（一般家庭で使われている電話機です）を接続して使用できるか調べてください。交換機によっては、電話をかける場合特殊な番号、たとえば「#9」などを最初にダイヤルしないとかからないものもあります。

Q. PBXで電話がかかりません。

- A. PBXで使用する場合、回線の種類の自動判定（パルスかトーンの判定）がうまく出来ない場合があります。その場合は設定ソフトで使用する回線の種類を「プッシュ回線」か「ダイヤル回線」で指定してください。

Q. 通報を受けたとき音声ですぐに再生されません。

- A. 通報先が電話に出たのか判定するのに呼出音が3秒以上聞こえないことを確認している為です。呼出音が鳴るタイミングにもよりますが、受話器をあげてから1秒～3秒後に音声メッセージが流れ始めます。

Q. タダ電通報で呼出音が鳴る回数を指定したい

- A. できません。WL110A_RNは呼出音が鳴ったと判定したら電話を切ります。通報先の電話機に着信履歴を残すことを目的にしています。

Q. 呼出音が鳴りすぐ受話器を取ると、また電話がかかってくる

- A. 呼出音を3回以上鳴らしてから受話器を取ってください。受話器を取るのが早すぎると、回線異常とみなし、もう一度電話をかけてきます。
録音をやり直すか、他の人に録音してもらってください。録音するとき音声の後に無音状態を2秒入れておくことで解決する場合があります。WL110A_RNは、呼出音が鳴らなくなったのを確認して相手が電話に出たと判断します。また話中音が聞こえるのを確認したら、相手が電話を切ったと判断します。すべて音で判定しているため、録音された音声に呼出音や話中音と同じ400Hz前後の音が混じっていると、正確に判定できない場合があります。

Q. 携帯電話にタダ電通報をしていると何回も通報してくるのですが。

A. タダ電通報は呼出音が聞こえたら正常通報となりますので、呼出音が聞こえない状態では何回も通報してしまいます。例えば通報先がドライブモードにしていると、呼出音が鳴らずにアナウンスだけが流れます。また、留守番電話サービスの呼出音の鳴る回数を0回にしている場合、呼出音が鳴らないので何回も通報します。

Q. 接点毎に異なる通報先を指定したいのですが？

A. できません

Q. 通報先の電話に誰も出ない場合はどうなりますか？

A. 電話をかけ、30秒間呼出音を鳴らした後に電話を切ります。10秒待機して、また電話をかけます。以後その繰り返しです。(リダイヤルの設定による)

Q. 現在使われていない電話番号に通報するとどうなりますか？

A. WL110A_RNは、通報先の電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかったりする場合があります。ご利用の前には設定後に動作試験を必ず実施してからご使用下さい。

Q. 発信者番号を通知するには？

A. 音声通報、タダ電通報の場合は、通報先の電話番号の先頭に「186」を入力してください。

Q. 定期通報のくる時間がずれてくる

A. WL110A_RNにはタイマーが内蔵されていませんので、どうしてもずれが生じます。電源を入れた時から時間をカウントしますので、定期的に電源を切り入り(電源を切ってから3秒以上待ってから電源を入れて下さい)すると、ずれが少なくなります。

Q. 1回の通信に要する時間はどれくらいですか？

A. 音声通報の場合は受けた側が電話を切るまでです。

Q. 接点入力と音声通報のメッセージが違うのですが

A. チャンネルとメッセージの録音が正しいか再生して確認して下さい。「録音再生」33ページを参照して下さい。

Q. 通報を受けたとき、入力信号のどれが警報発生しても同じメッセージが聞こえるのですが

A. メッセージ録音時に、録音チャンネル0だけで録音していませんか。「録音再生」33ページをご覧になり設定方法を確認して下さい。

Q. 通報時にノイズが入るのですが。

A. 入力接点に接続してあるものを外してください。制御盤に取り付けられている場合は本体も外してください。外した状態でノイズが出なければ、外部からノイズが入っている可能性があります。接点から直接ノイズが入っている場合にはリレーを入れるなどしてノイズが入らないようにしてください。また、モジュラーケーブルもノイズの影響を受けますのでシールドしてみてください。

Q. 誤動作などで電話代が多く請求されるようなことはありませんか？

- A. 1. 電話の仕組みとして相手が電話に出なければ当然電話代はかかりません
2. 電話を受けた側が電話を切ればその時点から電話代はかかりません
3. リダイヤル回数も設定できますので安心です。

上の2番目の場合に受話器を正しく戻さなかったときでも一定時間(120秒)経過すると電話を切るようになっています。いずれの場合であっても誤動作によって電話代が多くかかることはありません。安心してご利用ください。

Q. 停電保証充電電池を交換した場合、設定内容や音声メッセージは消去しますか？

A. 電池を交換しても、設定内容や音声メッセージ内容が消去することはありません。電池交換は、必ず本体電源をOFFにし、ACアダプタを外した状態で行って下さい。

Q. 停電保証時間を超えてから復電した場合、復電通報を行いますか？

A. 行いません。停電保証時間を超えてから復電した場合、電源を入れ直した時と同じ状態です。

Q. 停電通報はありましたが、復電通報が12時間も遅れてきました。なぜでしょうか？

- A. 複数の通報先を全て「必ず通報」に設定していて、停電通報が終了していなかったのではないのでしょうか。
 全て「必ず通報」にしてある場合、1ヶ所でも通報が終わらなければ永遠に通報しようと電話をかけ続けます（リダイヤルの設定による）。停電通報が終了できないため、復電しても復電通報が来ないということになります。「必ず通報」の設定をする通報先は、確実に電話を受けられる番号だけにしてください。夜は電源を切ってしまう携帯電話などを通報先に設定していると、このようなことがおこります。

Q. 停電通報だけ電話がかかりません。

- A. 停電保証充電電池の充電が不十分な場合、ACアダプタを抜くとPOWER(緑)は点灯しても電話をかけることができません。出荷時には付属の停電保証充電電池には充電が十分されていませんので、本体を72時間通電させてください。停電保証充電電池の充電を十分に行ってから、停電通報させてみてください。

Q. 停電通報が来ないで復電通報だけ来ました。なぜでしょうか。

- A. 使用している電話回線は停電時にも使用できる回線であるか確認してください。また、設定でリダイヤル回数を設定していないか確認して下さい。
 交換機やルーター、TA（ターミナルアダプタ）など使用している場合、それらの機器が停電時に使用できなくなれば電話回線も使用できなくなるため停電通報が来ない現象が発生します。

Q. 音声録音再生はどのようにして行うのですか？

- A. 普通のテープレコーダーのように使います。本体上面に録音(REC)・再生(PLAY)・停止(STOP)の3つのボタンがあり、録音する場合は録音(REC)ボタンと停止(STOP)ボタンを、再生する場合は再生(PLAY)ボタンを押して、付属のイヤホンマイクで録音します。録音再生中はMON(赤)が点灯します。

Q. 音声録音された内容をイヤホンで再生したとき、前より音質が悪くなりました。

- A. ACアダプタを使わず、停電保証用充電電池のみで使った場合に電池の残り電圧が不足していると音質が悪くなります。

Q. リダイヤル回数を1～9回に設定して、「必ず通報」を設定している場合はどうなりますか？

- A. 「必ず通報」に設定してあっても、リダイヤル回数が設定してある場合（1～9回）はリダイヤル回数が優先になります。

(通報例1)

設定内容 → 通報先 (1カ所・一般回線)・必ず通報 ・リダイヤル回数 9回

通報先が話し中の場合・・・リダイヤルを9回した後、通報を終了しました。

(WL110A_RNが通報を始めてから3分で終了)

(通報例2)

設定内容 → 通報先 (1カ所・携帯電話機)・必ず通報 ・リダイヤル回数 9回

通報先が圏外(電源OFF)の場合・・・リダイヤルを9回した後、通報を終了しました。

(WL110A_RNが通報を始めてから8分で終了)

※リダイヤル回数を設定しますと、上記のようにリダイヤルが数分で終了してしまい、正常に通報が出来ない事が起こります。

※リダイヤル回数は「制限無し」の設定でご使用される事をおすすめします

携帯メール(SMS)通報についてのご質問

Q. 携帯メール(SMS)通報とは

- A. ドコモの「ショートメッセージサービス」を使用した SMS メール通報です。
 ショートメッセージとは、携帯電話、PHS、一般回線電話などのプッシュトーンを送れる電話機から、ドコモの携帯電話へ文字メッセージを送るサービスです。
 電子メール (E メール) ではありませんので、パソコンやドコモ以外の携帯電話機では受け取れません。
 WL110A_RN からドコモのショートメッセージセンターへメッセージを送ります。
- ・最大文字数 全角半角にかかわらず 50 文字
 - ・センター保存 72 時間
 - ・発信者番号 通知可
 - ・使用可能な文字コード フリーメッセージ(*2*2) 句点コード(#)

Q. 携帯メールで通報させる設定をしたのに、通報できません

- A. 「通報先の電話番号」の先頭に「186」が入力しないで下さい。また、「通報先の電話番号」が下記のようなショートメッセージメールを受信出来ない電話機番号を設定していないかご確認下さい
1. 固定電話番号
 2. 使用されていない携帯電話番号
 3. ドコモ以外の携帯電話番号
 4. ショートメッセージメール(SMS)の受信を拒否設定している携帯電話番号
- 注) 「リダイヤル回数」を「無制限」に設定してある場合、多額の電話代が請求される場合がありますのでご注意ください。
- 注) 上記の電話番号への通報によって発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。

Q. 半角の小さいカタカナ「アイウエオヤユヨ」を送信したい

- A. できません。全角の小さいカタカナ「アイウエオヤユヨ」なら送信できます。

Q. メッセージが文字化けします

- A. 通報先側の携帯電話機がメッセージを受信したとき、なんらかの電波ノイズが混入したときに起きる可能性があります。また、送信するメッセージが長すぎると文字化けしやすくなります。メッセージを短くしてみてください。

メール送信システムについてのご質問

Q. メール送信システムとは

A. WhiteLock から E メール通報を可能にするシステムです。

Q. 登録料が必要ですか？

A. 登録は無料ですが、システムは有料となります。通報時の通話料金（弊社サーバーまでの料金）はお客様負担となります。日本国内（離島を除く）から通報する場合は、1 つの通報について 10 円程度かかります。

Q. どんな回線でも使用できますか？

A. WL110A_RN が使用出来る回線であれば、ご使用頂けます。中には、WL110A_RN で使用出来る回線でも、システムをご使用頂けない回線がございますのでご了承下さい。

NTT の「ひかり電話（光 IP 電話）」に接続されている場合、こちらのシステムへの通報は出来ません。

注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

Q. 使用出来ない回線を教えてほしい

A. NTT の「ひかり電話（光 IP 電話）」に接続されている場合、こちらのシステムへの通報は、出来ません。すべての回線でテストを行っていません。最新の情報は、ホームページでご確認下さい。

Q. どんなメールアドレスでも登録できますか

A. RFC 準拠であれば、ご登録頂けます。

※下記のようなメールアドレスは、登録出来ません。

- ・ピリオド『.』が連続で入っているメールアドレス
- ・ピリオド『.』が『@』の直前に入っているメールアドレス
- ・ピリオド『.』やハイフン『-』で始まるメールアドレス

Q. 通報先へメールが届きません

A. 1. ユーザー登録はお済みでしょうか？

弊社ホームページより登録シートをダウンロード頂き、登録を行って下さい。

2. WL110A_RN の設定はお済みでしょうか？

登録が完了しますと、弊社より『識別コード』を指定しますので、WL110A_RN に設定して下さい。

3. ユーザー登録の「接続する電話番号」と違う電話回線に通報装置を接続していませんか。

4. メールを受信される側で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされていないか確認して下さい。弊社のメール通報システムは、専用サーバーから LAN を通して光ケーブルで高速配信している為、送信元はパソコンと同じ扱いになります。

『 whitelock@adocon.co.jp 』からの受信許可設定を行って下さい。

Q. 登録後に内容を変更できますか

A. 可能です。ご登録が完了しますと、ご担当者様へ登録完了メールが届きます。この時に、添付される登録シートを使って変更頂けます。ご登録時と同じように、メール添付にて送付下さい。

識別コードは、通報装置に対して登録しますので、電話回線を変更される場合は「接続する電話番号」を変更して下さい。

設定ソフトについてのご質問

Q. 設定内容が転送（又は読込）出来ない

A. USB ドライバがインストールされているかご確認ください。

また、インストール済みの場合は「デバイスマネージャー」で COM 番号を変更してみてください。

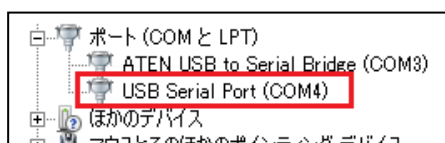
【インストールの確認方法】

本体とパソコンを付属の USB ケーブルで接続した状態で、「デバイスマネージャー」を開きます。

- ・「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスマネージャー」
- ・「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードディスク」→「デバイスマネージャー」

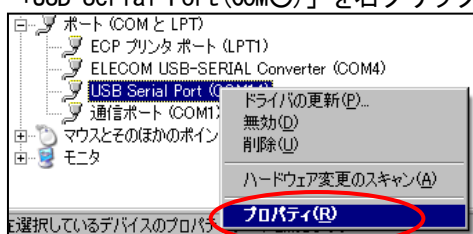
「デバイスマネージャー」の「ポート (COM と LPT)」内に「USB Serial Port (COM0)」が表示されているか確認します。表示されていない場合は、USB ドライバがインストールされていません。一度もインストールされていない場合は、ホームページより「USB ドライバのインストール方法 (PDF)」を参照下さい。

一度でもインストールされた場合は、「USB ドライバの削除方法 (PDF)」を参照下さい。USB ドライバを削除した後に、再度インストールを行って下さい。

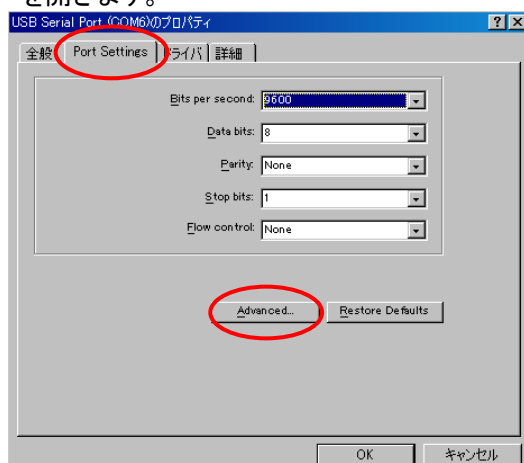


【COM 番号の変更方法】

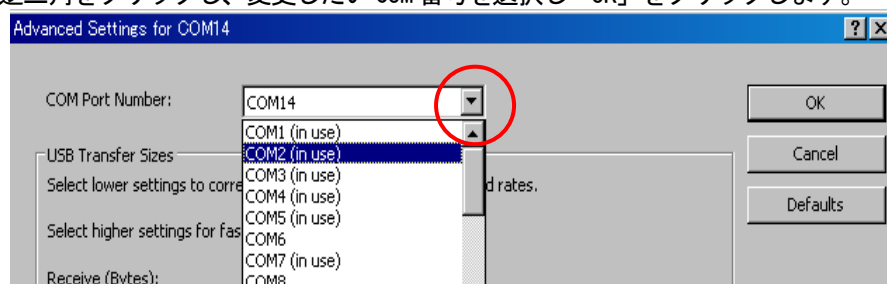
「USB Serial Port (COM0)」を右クリックし「プロパティ」を開きます。



「USB Serial Port のプロパティ」の「ポートの設定 (Port Settings)」タブをクリックし、「詳細設定 (Advanced)」を開きます。



逆三角をクリックし、変更したい COM 番号を選択し「OK」をクリックします。



「USB Serial Port のプロパティ」も「OK」をクリックします。

「デバイスマネージャー」「システムのプロパティ」も閉じます。

Q. インストールした後に設定ソフトを起動するとエラーになる

- A. 管理者権限でログインされた状態でインストールして下さい。また、セキュリティソフトや常駐ソフトウェアが障害を起こしている場合があります。
「問題が発生しました 動作を停止しました」とのエラーが出る場合は、WL110 設定ソフト Ver1.0.4 をご使用下さい。

Q. 設定を転送するときに「バージョンが合いません」と表示されます

- A. 本体と設定ソフトのバージョンの組み合わせが正しくない場合表示されます。バージョンを確認してください。バージョンが正しいのに表示される場合は、通信が正常に行われていない可能性があります。「通信ポート設定」で、「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外して、直接使用するポートを指定してください。

Q. 設定ソフトは、Windows で使用できますか。

- A. Windows7/8 で動作します。

Q. 設定ソフトが開けません。

- A. 設定ソフトを取扱説明書通りにインストールせず、設定ソフト exe のみインストールした場合は、VB6 ランタイムモジュールが必要です。

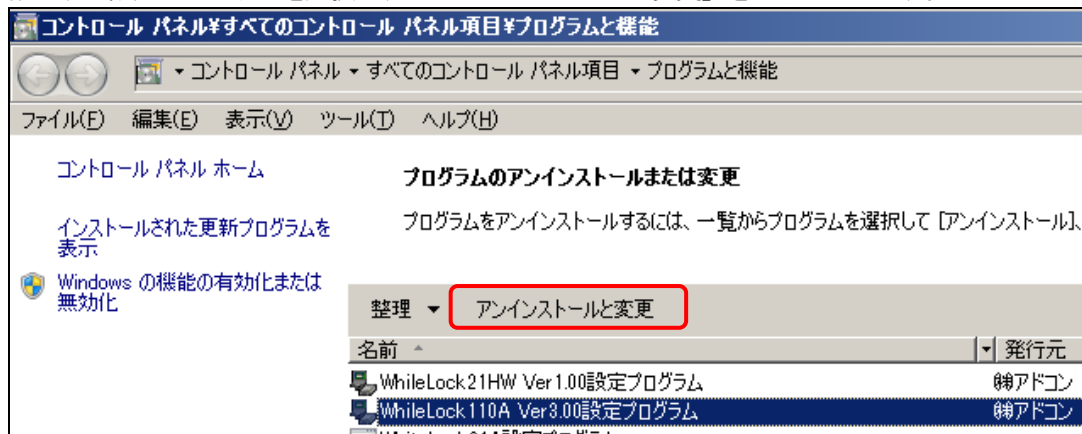
Q. 設定ソフトはついていないのですか？

- A. はい、ついていません。弊社ホームページ<https://www.adocon.jp/>の「ダウンロード」→「設定ソフト」から WhiteLock110A_RN のファイルをダウンロードし、任意のドライブに保存した後、ダブルクリックして実行してください。セットアッププログラムが実行されます。設定方法については13ページの「設定ソフトのインストール」からご覧下さい。

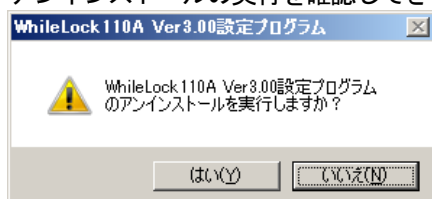
こんなときには

設定ソフトウェアのアンインストール

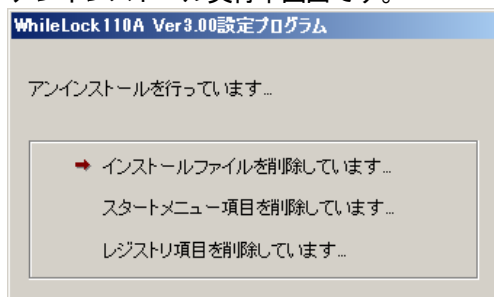
[スタート]メニューの [コントロールパネル] の [プログラムと機能] を選択します。
該当する設定プログラムを選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。



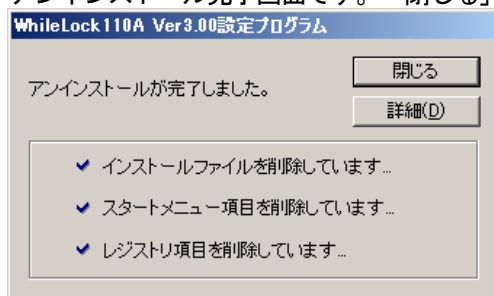
アンインストールの実行を確認してきますので、「はい」を選択します。



アンインストール実行中画面です。



アンインストール完了画面です。「閉じる」を選択します。



※アンインストールを実行しても、インストールしたフォルダ（例：C:\¥Program Files¥WL110A）は自動削除されません。WL110A のフォルダを手動で削除してください。

本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。
ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

仕様

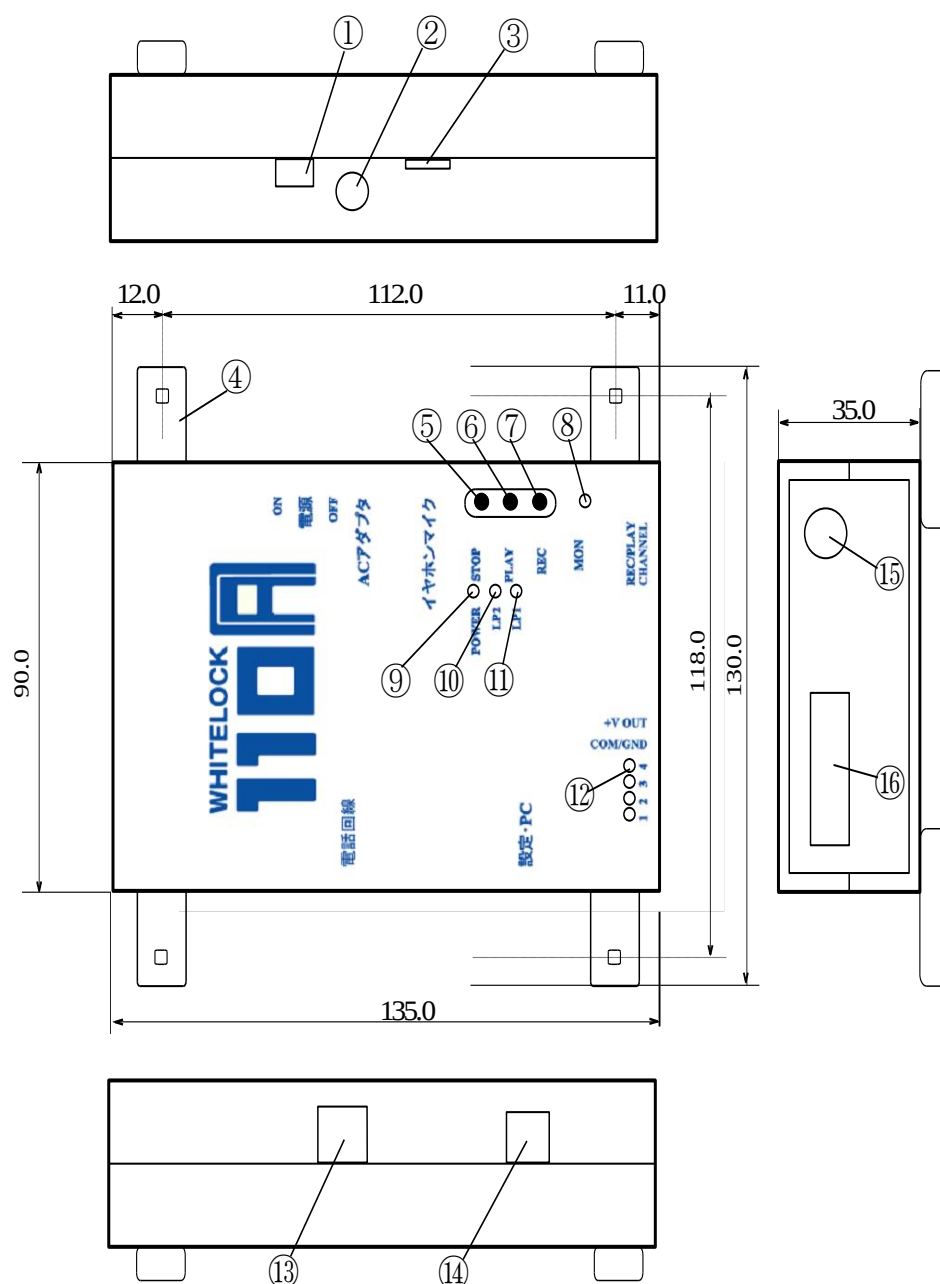
「WhiteLock110A_RN」 本体

形式	音声及びDTMF呼出方式非常通報装置
適用回線	NTT仕様のアナログ電話回線(2線式)
回線接続方式	通信コネクタ (モジュージャック)
選択信号種別	プッシュボタン (PB) または、ダイヤルパルス (DP:20PPS)
動作設定	パソコン用専用ソフトウェアで設定内容を転送する。
信号入力点数	4点 (無電圧接点またはオープンコレクタ)
停電復電検出機能	本体内部に停電復電検出機能搭載
自動発信	入力変化
メール発信	可 メール送信システム (Eメール) またはSMSメール (受信先ドコモ携帯電話機に限る)
話し中検知機能	あり (話し中及び通信が確立しないときにリダイヤル)
音声録音方式	圧縮無し直接録音方式
音声録音時間	8チャンネル装備。1チャンネル20秒、合計160秒
音声メモリバックアップ	不要 (フラッシュメモリー)
録音再生方法	イヤホンマイクを使用。録音・停止・再生ボタン操作による。
停電保証	停電保証用充電池により、2時間以上
制御CPU	8ビットマルチCPU
外部インターフェース	USB 2.0。USBハブには接続できません。
電源	ACアダプタ AC100V 50/60Hz 5W
動作温度範囲	0°C~40°C
動作湿度範囲	15%~80% (結露なきこと)
周囲環境	腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
呼出電話番号設定	最大6カ所、ダイヤル桁数24桁
停電保証充電池	006P DC9V、ニッケル水素充電池
寸法 (mm)	90 (W) × 135 (H) × 35 (D)
重量	重量 約 230g 電池込みの本体重量
動作電圧	9.5V~10.0V
消費電流	50mA (最大110mA)

設定ソフトウェア

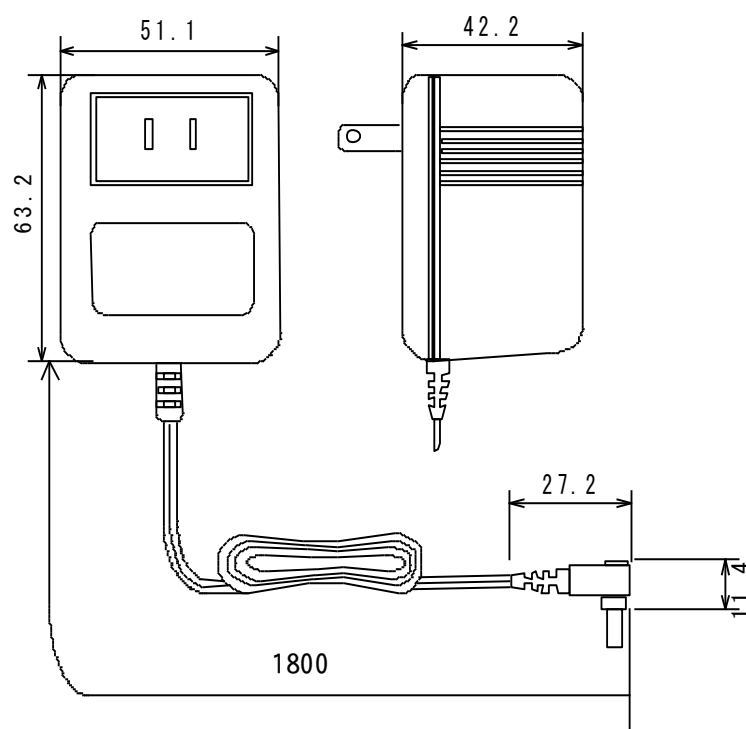
型式	WhiteLock110A_RN 設定ソフトウェア
動作環境	Windows 7 Windows 8日本語のみ対応 メモリ 64M以上 ディスク空き容量 7M以上

外形図



1	電源スイッチ	9	POWERランプ
2	ACアダプタ接続コネクタ	10	動作ランプ LP2
3	録音再生用イヤホンジャック	11	動作ランプ LP1
4	取付足	12	外部信号入力モニターランプ
5	停止 (STOP) ボタン	13	電話回線モジュラージャック
6	再生 (PLAY) ボタン	14	設定用USBコネクタ
7	録音 (REC) ボタン	15	録音再生・チャンネル切替スイッチ
8	MONランプ	16	外部信号入力端子

ACアダプタ外形図



バージョン

WL110A_RN	取扱説明書	設定ソフト	日付
Ver1. 20	Ver1. 00	Ver1. 0. 4	2010/10/01
	Ver1. 01		2011/09/12
	Ver1. 02		2011/11/14
	Ver1. 03	Ver2. 1. 0	2012/06/22
	Ver1. 04	Ver3. 0. 0	2013/07/05
	Ver1. 05		2013/08/16
	Ver1. 06		2014/01/31
	Ver1. 07		2014/06/06
	Ver1. 08		2014/08/22
	Ver1. 09		2014/12/24
	Ver1. 10		2015/02/17
	Ver1. 11		2015/12/11
	Ver1. 12		2018/06/20
	Ver1. 13		2020/09/11

更新履歴

2010/10/01

Ver1.00

- ・ WhiteLock110A の互換品 WhiteLock110A_RN を作成

2011/09/12

Ver1.01

- ・ パッケージ内容の端子台に「本体に取り付け済み」と追加
- ・ 「接続出来ない電話機」から「回線」に変更
- ・ ビジネスホン回線・ホームテレホン回線に接続すると故障する事を追加
- ・ 自動転換器『NT-325N』と『DC/AC インバータ』をオプション品として販売している事を追加
- ・ その他細かいところの修正

2011/11/14

Ver1.02

- ・ モジュラーコード 10m 以上について配線用コードを指定
- ・ 設定ソフトの仕様に Windows7 を追加

2012/06/22

Ver1.03

- ・ Q&A の修正
- ・ 寸法表示の変更 [135 (W) x90 (H) x35 (D) → 90 (W) x135 (H) x35 (D)]
- ・ ショートメール終了の内容に変更
- ・ 設定ソフト Ver2.1.0 画面と差し替え
- ・ 携帯メール（ショートメール）説明箇所を削除
- ・ メール送信システムの説明を追加
- ・ 画面例 Windows7（一部 WindowsXP 追加箇所あり）に差し替え

2013/07/05

Ver1.04

- ・ 取扱説明書サイズを A5 から A4 に変更
- ・ 索引の追加
- ・ 表記ページへのリンクを追加
- ・ WL110A_RN 設定ソフト Ver3.00 画面と差し替え
- ・ 通報の状態を表す図を差し替え
- ・ 外観図の差し替えとリンク
- ・ メール送信システムの設定方法を詳しく追加
- ・ 転送・読込の際に、本体の電源をすぐに入れると上手くいかないことを追加
- ・ 設定ソフトの動作環境で、WindowsVista は社内での動作確認が出来ない為、削除
- ・ Windows98、WindowsMe、Windows2000 のサポートは終了した事を追加
- ・ 電池の仕様に 250mAh 以上を追加

2013/08/16

Ver1.05

- ・ メール送信システムの通報先電話番号が間違っていた為、訂正
- ・ メール送信システムの設定で、「必ず通報」にチェックを入れることを追加
- ・ 入力信号の接点仕様の説明を解りやすく修正

2014/01/31

Ver1.06

- ・ 出荷時の録音メッセージ内容を追加
- ・ 接点仕様の説明で「入力有り」を「警報発生」へ、「入力無し」を「警報解除」へ変更
- ・ 信号入力の内部回路図を他製品と統一

2014/06/06

Ver1.07

- ・ 設定ソフト対応OSにWindows8を追加
- ・ 入力端子の信号線に単線0.5Φ~1.3Φを追加
- ・ 信号線をまとめるのに絶縁付閉端接続子の説明を追加
- ・ 自動転換器推奨品にNT-320を追加
- ・ 200Vを100V変換するトランスの説明をQ&Aに追加
- ・ メール送信システムで登録出来ないアドレスを Q&A に追加

2014/08/22

Ver1.08

- ・ 自動転換器 NT-325N（製造中止）を削除し、NT-320 と画像を差し替え
- ・ 信号入出力内部回路図の矢印を削除
- ・ よくある質問の追加と修正

2014/12/24

Ver1.09

- ・ 設定ソフトのインストール方法に補足
- ・ 入力信号回路図のケース印字が間違っていたので訂正
- ・ よくある質問の修正

2015/02/17

Ver1.10

- ・ よくある質問の追加と修正
- ・ その他細かいところの修正

2015/12/11

Ver1.11

- ・ 動作モニタの一部修正
- ・ 入力信号の ON/OFF を「警報発生」と「警報解除」に変更
- ・ 各名称を統一
- ・ 電池の説明で、「内蔵」を「付属」に訂正
- ・ その他細かい所の修正

2016/06/20

Ver1.12

- ・ モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証はない事を追加
- ・ PBX の説明で、SDT (第 2 ダイアルトーン) 0.125 秒の ON/OFF には対応していない事を追加
- ・ WindowsVista/XP のサポートは終了した事を追加
- ・ 電池は2年程度の使用が可能と変更
- ・ よくある質問の追加と修正

2020/09/11

Ver1.13

- ・ メール送信システムの電話番号を『0852673441』へ変更
- ・ その他細かい所の修正

索引

A

ACアダプタ 35, 44
ADSL回線 8

C

COM 28, 29

E

Eメール 36

I

IP電話 8
ISDN回線 8

P

PBX 11

S

SMS 26, 36, 46
SMSメール通報 17, 20

U

USBドライバ 16
USB通信ケーブル 28

W

WhiteLock集中監視 17, 22, 27, 36, 46

あ

アナログポート 8
アンインストール 60

い

イヤホンマイク 34
インストール 13

お

音声通報 19, 36, 46

か

解除呼出 25, 27, 37
外線発信番号 19

き

共通端子 35, 43

け

警報発生 37

こ

個別解除呼出 38

し

自動転換器 42
信号入力部 45

せ

清掃 60
設定ソフト 13, 58
設定データ転送 28
接点仕様 25
全解除通報 37
全解除呼出設定 37
センサー用電源 43, 52

そ

送信メッセージ 26

た

ダイヤル回線 1, 8
タダ電通報 17, 20, 36
端子台 43

ち

チャンネル切り替えスイッチ 34

つ

通信ポート 28
通報先 17
通報終了条件 23

て

定期通報 24, 39
停電 24, 39
停電保証 49
停電保証用充電電池 49
電話回線 8, 25

と

動作モニタ 47
取付足 42, 44

な

内線交換機 11

に

ニッケル水素充電電池 49
入力信号 25

ひ

ビジネスホン回線 1, 8

ふ

復電 24, 39
ブッシュ回線 1, 8

ほ

ホームテレホン回線 1, 8

め

メール送信システム 17, 21, 26, 36, 46

り

リダイヤル 24, 41

る

留守番電話サービス 22

ろ

録音再生 33

WhiteLock110A_RN

取扱説明書

Ver 1.13

2020 年 9 月

発行元 株式会社アドコン

<https://www.adocon.jp>

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196